第三千九百六十二號 (一)
明治三十九年八月十日第三種郵便物認可
THE KEIJO NIPPO
大正七年十月四日 (年中無休刊)

京城日報

十月三日夕刊 (朝夕併せて八頁)

時間表

[illegible]

大正七年七月一日改正現行

黒龍州方面戰報

△山田枝隊敵追窮

、ゼーヤ河全く掃河＝部隊コルフチウジンスク到著

陸軍省公表＝(一)山田枝隊前面の敵はゼーヤ市より更に北方ヤクーツク地方に向ひて潰走せるもの、如し該枝隊は之を急追する爲め九月二十六日ゼーヤ市を出發北進し其騎兵隊は同日夕ゼーヤ市北方約八里の地點に達し敵の後尾に約七八里の距離に追窮せるを知り尚ほ進撃續行中なり又其歩兵の一部は同日ゼーヤ市を出發タンブキ方面に向ひ進撃中にして其一中隊は二十七日午後リカテイ金鑛を占領せり尚ほ同枝隊の主力は九月二十九日オスウヤンガ及びス非グダを出發してゼーヤ市に向ひ前進せり(二)ゼーヤ市の下流たるゼーヤ河は九月二十二日アラゴエチエンスクを出發せる我掃河戰團の努力に依り二十六日全く其掃河を終れり(三)艦にチタを出發して前進せる第三師團の一部は二十九日ウエルフチウジンスクに到著せり(東京特電)

△誠意我軍を歡迎

其防著電＝船橋枝隊の行動せる地方支那官民は誠意我軍を歡迎し知縣、道尹並に黒河支那軍旅團長は特に我軍の黒河入城に際して之れが出迎ひ勞問の意を表せり(東京特電)

◇西伯利統一頓挫

＝原因は閣員の割振り＝

某所著電＝西伯利統一の爲め過般ウファに於いて各政府代表者會議し全露政府を形成せんとしつゝありオムスク政府藏相とハイロフは同政府首相ウオロゴドスキーを統一政府閣員に列せしめんと畫策し居たるにオムスク政府部内に不同意の者あり意見一致せざるより異分子廢除の爲め一名の閣員を拘禁したる結果端無くも恐慌を來し目下紛擾狀態にありと(東京特電)

◇ガドレン大佐總司令官

曩に東清鐵道同盟罷工煽動者を軍法會議に附し銃殺の訓令を發したるガイダ將軍は西部に赴く途中哈爾賓に立寄り曩に哈爾賓野戰軍法會議長に任命せしチエック司令官カドレン大佐に對し其不在中同大佐を沿海州、黒龍州、後貝加爾州及び東清沿線地帶の總司令官に任命せり(哈爾賓電報)

◇獨紙の休戰評

勃國首相を非難す

ストックホルム發某所著電＝勃牙利の休戰要求に對し獨紙フオレッシエ、ツアイツングは「勃國政府の措置に因りて生じたる事態が重大なる丈我國民及び政治家は愼重の態度を執り輕擧を避けざる可らず勃國首相マリノウは既に協商側と何等かの關係を有するやも圖られざるも協商側は同人の提議を拒絶し同人は自滅するやも知れず」と又フランクフルト紙は「吾人は既に伊太利羅馬尼亞戰ダーダネルス戰の難關を經來りたる者なればマリノウの背信行爲に因りて生じたる難局をも切拔け得可く重大なる時局に處する爲には擧國一致の實を擧げ改革を爲すを必要とす」と説けり(東京特電)

◇獨宰相辭任未定

獨逸宰相の辭職説は未だ確實に非ず傳へらるゝところに據れば獨帝は宰相の辭職を聽許せざりしとの報あり(東京特電)

◇徐復辟不利陳述

徐世昌氏は復辟説の傳播に對し余の總統在任中は國本を動搖せしめざるを保障す可しと述べ内外の形勢復辟に不利なる事前清皇室が張勳復辟の前轍に懲り之れに贊成せざる内情を詳述せりと(東京特電)

◇東宮殿下 攻防演習御見學

皇太子殿下には豐橋地方に於て施行すべき陣地攻防演習御見學の爲め二日午前十時三十分御用門小川武官長御陪乘東京驛に行啓同驛に於て兩陛下御使を始め奉り波多野宮相、床次内相並鐵道院總裁其他の奉迎を受けさせられ直ちに御乘車東郷御學問所總裁其他を從へさせられ前記諸員奉送裡に御機嫌麗しく同十一時御發車午後二時二十五分御用邸御著御用邸に入らせられたるが三日より五日迄攻防演習を御見學遊ばさるべし(靜岡電報)

◇宮殿下御觀戰

閑院宮殿下には攻防演習御觀戰の爲め二日朝東京發豐橋へ成らせらる(東京特電)

◇田中陸相觀戰

田中陸相は攻防演習觀戰の爲め二日朝東京發豐橋に向へり(東京特電)

◇大藏次官

二日左の通り辭令ありたり(東京特電)

任大藏次官(一等) 大藏省理財局長 神野勝之助

◇警保局長決定

川村竹治氏

警保局長の後任は井上孝哉氏に故障ありし爲め現青森縣知事川村竹治氏に決定したるが其結果地方長官に多少の異動あるべしと(東京特電)

◇秘書官任命

大塚氏農商務次官

二日左の通り辭令ありたり(東京特電)

任大藏大臣秘書官(三等) 堀切善兵衛
任遞信大臣秘書官(三等) 吉原正隆
任文部大臣秘書官(五等) 牧野良三

尚ほ商務次官は犬塚勝太郎氏に決定一兩日中に發表ある筈

◇後藤男渡支

更に米國へ

後藤男は佳冠後閑散の身となりしを以て來月支那に漫遊し更に渡米して戰時の米國を遍く視察しウィルソン大統領とも會見すべしと(東京特電)

◇鐵道院大異動

不日發表さるべし

鐵道院は正副總裁任命と共に大異動あるべきが右は根本的事務刷新の目的にて不日發表さるべしと(東京特電)

◎勃國眞意

休戰提議觀測

巴爾幹半島に於ける聯合軍の攻勢は勃牙利軍に大打撃を與へたる結果勃牙利は聯合軍司令官に對し休戰の申込を爲したりとの事は其筋にも情報ありたるが右に就ては二種の觀測あり一は勃牙利の

▲疲弊困憊 は其の國土の小なる丈け墺國以上にして國民は獨逸の壓迫に依り餘儀なく戰爭を繼續せざる可からざるの實情を知りて反獨感情熾烈を極め延いて國王フェルヂナンドに對する怨嗟の聲漸く盛ならんとするに際し西部戰線に於ける獨軍の敗退は勃牙利をして全く最後の勝利に對して絶望に陷らしめたる外土國との關係も最近甚だ圓滑を缺くの狀態にあり即ち兵力を以て聯合軍の爲めに屈服を餘儀なくせられて自滅的悲境に陷らむよりも寧ろ此の際進んで休戰を聯合國に提議し更に機を見て單獨講和を締結せんと企圖するものにあらざるか

▲此の推測 にして當れりとせば聯合軍は勃國との休戰に依りて得たる兵力を土耳其に差向け積極的に土國を攻撃し得可き形勢となり其結果は勃牙利及土耳其を個々別々に屈伏せしめて同盟の連鎖を破壞するの利益に到達し得べき見込なるを以て強ち勃牙利の休戰提議を容れざる可しと斷言する能はず更に他の觀測は勃の休戰提議を以て直に獨勃の乖離と見るは早計にして今日の戰局上獨逸との同盟連鎖崩解は結局各自國の政命を傷なりとのとは土勃墺の各國民とも自覺し居るの風あれば假令獨逸に對して不滿を抱けるものありとするも未だ是れと全く分離を欲する程の時機にも非ざる可きを以て畢竟するに勃牙利の休戰提議も

▲獨逸との 間に諒解ありて獨逸の希望する一般講和の傀儡たるに過ぎざらんかと云ふにあり果して何れが當れるやは今後の情報に俟たざるべからず

◎總監午餐會

山縣政務總監は三日午後零時半朝鮮ホテルに目下入京中の第一銀行取締役日下義雄、東京高等師範學校長嘉納治五郎、鮮銀副總裁嘉納徳三郎、第一銀行橫濱支配人西村道彦、同京城支配人竹村利三郎の諸氏並に美濃部鮮銀總裁其他を招待し午餐會を催したるが總督府よりは宇佐美內務長官關屋學務局長小田齋藤內務課長等出席せり

◎國勢調査評議會

三日午前九時より總督府第一會議室に國勢調査評議會を開き各評議員出席各事項に就き審議する處ありたり

◎郵便規則改定

曩に內地に於て郵便規則中改正ありし爲め朝鮮に於ても之が改正の必要を認め今回朝鮮及び內地樺太並に支那間に於る郵便規則中若干の改正を加へ四日府令を以て發布同日施行さるべし

◎米仕向貨物 注意

北米合衆國政府發布規則中米國仕向け荷送人及び回漕業者として注意を要する點即ち十月一日以後の日附ある海洋船荷證券に依る船荷は正式なる領事館送狀に記載あるもの、外合衆國港灣に荷揚げを許されざる貨物を原地に返還するの責任あり此項に關し注意せられたき旨在京城米國總領事館より通牒ありたるが該規則の詳細に關しては直接當業者より京城米國領事館に就き承合すべしと

◎朝鮮郵船決算

前年に比し良好

朝鮮郵船會社の四月一日より九月三十日に至る大正七年度上半期の決算は既に本社並に支店出張所共三十日を以て締切り目下同社會計課に於て計算を進め居り

▲その成績 は中旬に至らざれば判明せざるも大體に於て之れを前年同期に比すれば支出は著しく增加せしも收入亦目立つて增進せしためその純益勘定に於て幾分良好なるべき豫想なるが如し乃ち支出の增加は(一)社員並に船員の手當增俸による經費增(二)石炭の暴騰並に米その他の食料品の騰貴(三)船舶修繕料の昂騰(四)物價騰貴による各種經費の膨脹あり等その總損金は或は前年同期の二倍に達し居るべしとの事なるも一方收入は(一)海運界繁忙のため社外船の朝鮮寄航引續き著しく減じ

▲朝郵社船 は比較的貨客の輸送繁忙なりし事(二)日本海橫斷航路の開航等も來くべきが各航路の成否を豫言すれば最も好成績なるは浦鹽北鮮航路及び阪神航路にして會社收入の中堅を爲し次に自營航路たる北支那仁川航路の如きは船價の倍額も儲され居る江原丸を使用しつゝあるため收益概して多く濟州鎮南浦も補助額は所定船たる二千噸級以上を就航せしめざるため若干宛額を減ぜられ居れど相當額の收入あり唯西海岸沿岸たる鎮南浦と釜山間の各航路は稍く減じ

▲荷客の集散 閑散にして補助額あるも引合はざる由なり尚ほ十月一日以後明年三月に至る間の營業狀態豫想は船員社員の待遇を一層引上げたるあり物價の騰貴せる事並に船舶入港賃の若干率引上ありて支出は收入の增加率を超ゆべしと觀られつゝあり尚は概して云へば朝鮮の港點とする命令航路は其の輸送を受けざる如く收入に於て他の內地の各船會社の良好なる影響を受けず然も支出は何等の假借なく戰爭により來る傭船料の騰貴物價騰貴勞銀の增給等あり此間の平衡されざるため

▲他の船會社 に比すれば會社の經營は容易ならざるものあり唯會社は既往に於て船價の低廉を極力行ひ目下の所有船は之れを時價に見積る時は恐くべき安價となり居り從つてよく經營の激增に堪へ進んで新造船の註文等をなし居れるなりと

◎西伯利貿易

浦港の發展

戰爭以來日本の對露貿易は從來に比してはるかに激增し曾て獨逸を經由して輸入せられたる物資も直接邦商の手に賣込まるゝもの少からずその活躍の程目ざましき光景を呈す今其要概を摘記せんに

▲世界船舶消長 戰前に於る世界の船舶の實在數は約四千三百萬噸なりしに開戰後獨逸潛航艇の被害及び遭難喪失數は千九百十七年一月より八年三月に至る十五箇月の間に於て七百七十四萬七千百二十五噸に達したるが統計に現はれざる一九一五六兩年間の被害は獨逸潛航艇の跳梁を逞しうせざる時期なるも尚相當の戰禍を受けしのみならず普通海難に依つて一箇年の喪失噸は二百萬噸に上り以上戰禍海難を合計すれば九百七十四萬七千二十五噸となり尚千九百十五六年間に喪失數を八十七萬七千噸と假定すれば總數千六十三萬百卅五噸の巨大となるが一方世界船舶建造高は千九百十五年は百二十萬八千噸同十六年百六十八萬八千噸同十七年二百九十三萬七千七百八十六噸同十八年一月より三月八十六萬四千六百七噸にして總計六百六十萬九千三百九十三噸なり之を喪失噸に對比すれば尚三百九十七萬五千七百四十二噸の純減少高を示し前述の四千三百萬噸の世界船舶數は約三千九百萬噸餘に減少せる計算なり軍需運輸の世界船舶喪失數を五百萬噸と推算し現在船舶實在高を三千八百萬噸と推測するは千九百十五六兩年戰禍喪失數を百萬噸多く計算するに依れりこ

▲浦鹽市況好調 浦鹽織物類は本年春益好勢なりしが過般の米騷動に一頓挫を來し本年最安値を現出せるが其後外市況漸次持ち直し目前に冬季を迎へて一齊の好勢を告げ昨年に比し四割乃至五割高をよし例年七八月の交は大口商談の大手合せ行はれざりしが産地大諾に來するが常なるも本年は格別の大口商談もありしが故目先軍需の氣構へもありておいて苦しく産額をしめしをれるが一朝大口註文入込まば相場は今一段の奔騰を見るべく豫期されをれり目下相場は十貫同上物六百圓より五百七八十圓並物四百七八十圓より四百五十圓見當を唱へられつゝあり

▲浦鹽貿易規程 浦鹽貨物の輸出入及び積戻しに關しては七月中旬以來臨機の處置として領事團ゼムストラ及び稅關の協議を經て許可する事となりをりしが今般稅關長より關稅未拂の外國貨物及び關稅拂濟と雖も稅關の管理を離脫し得ざる貨物は法令に依り稅關若くは稅關協議會に於て許可を與へ得ることゝなりしを以て將來は積戻しに關しては領事團に協議せず稅關協議會限りにて許可を與ふる事に改めたく領事團に照會し領事團は同意を表したりと

◇第一回米作豫想

五千八百九十八萬二千餘石

前年に比し八分一厘增收

農商務省の發表に係る本年度第一回米作豫想收穫高は本年は挿秧當時雨天勝にして氣候良好ならざりしも其後適順となり氣溫上昇土用中の照込十分にして分蘗は旺盛となり發育良好を告げ八月下旬及び九月下旬に於ける暴風雨の爲め多少被害ありたる地方あるに拘らず全國を通じて作柄良好にして九月二十日現在豫想高は五千八百九十八萬二千九百五十二石之れを前年の實收高に比すれば四百四十一萬四千八百八十五石即ち八分一厘弱平年作に比すれば五百八萬九千五百七十二石即ち九分四厘の增收を示せり(東京特電)

◇平沼氏法相就任

不日訴訟事件の終結と共に

原內閣の法相は二十九日親任式迄に平沼騏一郎氏の承諾を得ざりしが同氏は目下關係せる某訴訟事件の終結を俟ち就任を承諾すべく該事件も此處一箇月以內には終結を告ぐべき筈なれば遠からず氏の就任を見るに至るべしと(東京特電)

◎朝鮮郵船總會期

朝郵の本年上半期決算案附議の株主總會は來る二十九日若くば三十日樓上に開會の豫定なるが原田會長は下旬に入り入京すべしと

◎東拓大連店長異動

九月三十日附東拓大連支店支配人に左の如く異動あり

京城支店勤務 安川和三郎
大連支店支配人 安東義喬
本社事業部事業課長

◎殖銀監理官

朝鮮殖産銀行監理官は度支部司計課長河內山樂三氏に對し十月一日附命ぜられたり

◎殖銀重役歷訪

朝鮮殖産銀行三島頭取有賀中村櫻井三理事は三日午後市中各方面を歷訪し殖銀成立並に役員新任の挨拶をなせり

◎兒島總長歸任

出張中なりし總務總長兒島惣次郎中將は三日午後六時五十分南大門驛著列車にて元山より歸京せり

◎釜屋武官歸任

釜屋總督附武官は佐世保に出張中の處三日午前十時南大門驛著列車にて歸任せり

◎兩博士動靜

二日夜滿洲方面より入京朝鮮ホテルに投宿したる九州帝國大學教授久保醫學博士並に臺灣總督府醫院稻垣醫學博士の兩氏は四日午前中秋元局の案內にて總督府に山縣政務總監を訪問し入京の挨拶をなしたるが三四兩日に亘り京城市內各學校醫院景福宮昌慶苑等を參觀の豫定なり

◎嘉納校長訪府

二日夜入京令弟嘉納鮮銀副總裁社宅に入りたる東京高等師範學校長嘉納治五郎氏は三日朝總督府に山縣政務總監宇佐美長官關屋學務局長其他を訪問し後京城高等普通學校附屬普通學校を視察し正午山縣政務總監招宴の午餐會に臨み午後京城工業專門學校を視察し黃金町二丁目講道館朝鮮支部に到り部員の柔道稽古を參觀せり

▲講演會 嘉納東京高等師範學校長は四日午後四時半より朝鮮教育研究會主催にて教育者の爲めに南大門小學校に於て又五日午後四時半より朝鮮新聞及び本社主催にて一般人士の爲めに又六日は女子の爲めに午後三時半より高等女學校に於て教育及び體育に關する講演を爲すべし

人事消息

▲永井中央試驗所長 慶尚北道大邱に於ける棉花品評會褒賞授與式臨席の爲往復一週間の豫定を以て二日出發

▲松永京畿道長官 果樹蔬菜並種畜改良及勸業模範場水源支場出張を命ぜられ打合せの爲め往復四日間の豫定を以て二日出發

▲本間德雄氏(總督府土木局技師) 二日附二十七日間の豫定にて東京神戶福岡の各地へ出張を命ぜらる

▲佐藤修二氏(同鐵務課技師) 二日附十七日間の豫定にて慶尚南道管內へ出張を命ぜらる

▲尾越永藏氏(遞信局技師) 三日附十四日間の豫定にて長崎へ出張を命ぜらる

▲高石政次郎氏(總督府庶務課技師) 苗圃場事業狀況調査其の他の用務を以て忠清南北道其他各地へ出張を命ぜられ二日出發

▲西村第一銀行橫濱支店長 來る五日午后七時五十分南大門驛發列車にて出發赴任の筈

▲三重縣教育視察團 四日朝入京の筈

茶前酒後

◆獨外相ヒンツエ、議會委員會に於て、勃牙利の休戰講和に對し、獨逸は直ちに強大なる兵力を豫備隊より割き、尚は墺軍よりも增援隊を派遣せりと云ふ。果して其言の如くんば、何故に勃牙利は聯合國に對し、聯合國の許容する條件のもとに、休戰の約束をなせしや。果して彼の言の如く、獨墺より增援隊派遣の事實ありしや。增援派遣にして事實なりとせば、勃牙利は最早、獨逸を見棄てたるものと云はざるべからざる也。何となれば彼は、最早獨墺より增援隊の派遣あるも、前日の如く其の御助力を、有り難く思はざるが故也。其の增援派遣が、單に外相が議會に於ける苦しまぎれの聲明とすれば彼遂に議會を欺き、却つて國內に紛擾を釀すべく、外相自ら獨逸の滅亡を援助せんとする者に非ずして何ぞや。何にしても獨逸の有利に非ざる也。

◆獨逸大本營に重要會議開かれ、伯林に騷動勃發し、キュルマン首相伯林に來る。而して獨宰相は頻に辭意あり。之れ何等の兆ぞ、巴爾幹の形勢一變せんとする今日、中歐同盟側に狼狽の色あるは、何の不思議にも非ず。之れ即ち當然來るべきの運命のみ、自然のみ、而して彼等が辿るべき道程也。

◆オムスク政府顛覆す。首相の不在に乘じて、藏相とハイロフの支配下に屬する、オムスク行政委員會等の、謀叛なるが如きも、更に其の裏面には、浦鹽デルベル政府側に屬する人々が、首相の不在を機として、西伯利議會と申合せの上に、敢行せし陰謀なるが如し。

◆西伯利政局は子供の積木遊びの如し、漸く積上げしかと思へば、忽ち崩る。基礎の鞏固を考へずして、徒らに積み上ぐるに急なるが故也。而も茶目や惡太郎等の寄り合なれば、結局は掴み合の喧嘩となり、爺共の厄介となるは明か也。

◆原氏新內閣組織の翌日、大浦兼武氏鎌倉に逝く。彼は精力の人、仁侠の人なりし也。惜い哉彼の去脚無くんば、一度は廟閣の首班にも立つべきの人なりし也。

參謀本部檢閱濟
東西伯利亞明細圖
本圖の詳密明細なる是實に東洋第一にして殊に參謀本部の檢閱を經て以て之を證す故に世の企業家並に西伯利亞の何ものなるかを知らんとするの士は必ず本圖に賴られよ 特に其價格の廉なる是又世界第一
一百萬分一 四枚一組 價二十錢 送料八錢

西伯利戰地一覽圖
本圖も參謀本部の檢閱濟にして前記明細圖を縮寫せしめ地の山川市邑を一目瞭然たらしむるを以て目的とす故に皇軍の戰況を知らんとするの父兄は必ず本圖を坐右に備へられよ
定價一枚三十錢 送料四錢

臨時土地調查局測量
朝鮮各種地形圖
五萬分一は二色刷及三色刷を混合販賣一萬五千分一及一萬分一は著名の市邑のみ發行照會は郵券二錢を要す即時回答又は一覽表送る
一枚定價 二色十二錢 三色十二錢 送料二錢

朝鮮近海雜用海圖
價格不同 照會は必返信料要

京城長谷川町朝鮮ホテル前 小林又七朝鮮地圖部 電話二一〇 振替三八〇〇

カーバイド
並に各種ランプ及附屬品
田中カーバイド鮮滿總代理店
京城南米倉町十七番地
山陽商會
電話一九二 振替京城三〇〇番

中外新論 一周年 革新號
前號は發賣禁止の厄に遭ひ讀者に背けり外觀內容を革新して發憤活躍せる本號を見よ
戰局逆轉と講和提議 社
言論壓迫と危險思想 說
人口問題と國力の消長 建部博士
◇我が教育制度の缺陷 法學博士 大山郁夫
◇チェック・スロヴァクの民族的運動 米田庄太郎
◇獨逸の疲弊と將來の巴爾幹 長瀨鳳輔
新大總統たる徐世昌氏 寺尾博士 頭山滿 犬養毅 乾堂生
社會政策としての專賣 神戶博士
米穀國營論 賛否兩論
米官營に絶對反對 福田博士
戸水寛人 安部磯雄 降旗元太郎 大谷誠夫 鈴木梅四郎 角田五郎 谷本富 尾崎行雄 重松大木遠吉 奥田竹松 山路愛山 松田源治 倉知誠夫 山本美越乃 勝井上 早川千吉郎 坪谷善四郎 末廣
小說 踏み潰された帽子…… 上司小劍
戀を失へる二人の精神的苦悶を描いて深刻痛烈
小說 闇の中に(女史近時の必然的長篇) 佐藤俊子
◇祖國主義(百五十行の大長詩) 三井甲之
◇月明漁火(俳句百首 抄) 原井泉水
人物論 夏目漱石 德富蘆花(兩文豪の裏を解剖して餘蘊なし)
孤獨の日を顧みて…… 松崎天民
名士と俳藝者…… 清香と伊井蓉峰と後藤伯 ◎榮龍と河合武雄と秋山社長 ◎市村羽左衛門と和田維四郎 …紅枝と楓閣
我等の眼から見た東京市疑獄事件…… 石川半山
口大工の小倅から辯護士の學僕…子子子
科學的食物營養論 醫學博士 福士政一
卷煙草哲學…… 青柳有美
本號に限り定價金參拾五錢郵稅貳錢
東京市芝區愛宕下町二丁目二番地 中外新論社 振替東京三六五〇〇番

新荷著 (目錄贈呈)
京城本町二丁目二十九番地
山葉樂器朝鮮代理店
販賣元 釘本樂器部
電話二二八三番

★ブラゴエ指して
進發する小倉騎兵聯隊＝金谷員撮影

★小倉騎兵隊 ブラゴエへ進發

金谷從軍記者

『我中隊はこれより山田枝隊に屬しブラゴエに向つて前進する!!』ハバロフスクの一番乘り小倉騎兵第十二聯隊の第二中隊長川名雷大尉が破鐘のやうな聲で號令を下したハバロフスク原頭の秋の陽は大尉の

長劍に輝いて

名譽ある小倉騎兵聯隊の第一第二中隊は今し黑龍江に沿うて進發せんとするのである、時はこれ九月の十五日午後、遙かに黑龍江の對岸吉林省の山々には飄々として白雲が飛んでゐる、折から整列せる二個中隊の前に徐ろに軍旗捧げられた旗手は御用船〇〇丸以來お馴染の綾部少尉肅然として整列せる部隊に馬首を立つれば

劉喨たる『足曳』

の喇叭吹奏裡に馬上の二個中隊は一齊に長劍を捧げて敬禮する、仰げば軍旗の竿頭金色の菊花は燦としてまばゆく雨打風雅弾丸雨飛の間に裂かれたる旭日旗は徐かにその上部のみが風に飜る、あゝ!!!何等の壯觀、何等の嚴肅!!!一擧ハバロフスクの敵を屠りたる我軍旗は今また

長驅西方の敵

に向つて進まんとするのである、『二伍縱隊進め!!』再び映るが如き雷、中隊長の號令が下つた、顏々として進む馬の足並!!!中央に飜る軍旗の旗風!!!吊大尉の長劍の閃き!!!あゝ何等緊張せる舞臺であらう!!!『川名大尉、確かりおやんなさい!!』

馬上の大尉は

莞爾としてこれに答へた、二個中隊の騎兵は今し堂々としてハバロフスクを出發する、木造の街の其處此處露國の娘や婦人や子供や大人等が盛んに窓から先發隊を見送つた、一隊は見る間に市街の丘の向ふに隱れた、光榮ある宮内騎兵聯隊は更に百八十里の彼方に向つて出發した（九月十四日）

○百三十年前イルクツクに 入込んだ日本漁夫

東方經營に腐心して居た露人は 此漁夫から日本語を習つた
帝大教授 内藤湖南博士談

滿蒙の委囑に依り京城、長春、撫順、奉天、大連の各所にて講演の爲め來鮮したる京都文科大學教授内藤虎次郎博士は二日朝上陸十時半發列車にて北行したるが博士はボーイな歡談し乍ら語る（釜山）

▽戰局も 大分進展した樣ですね、案外無難で一部の目的は達したらしいが僕等の眼からは是非イルクツク迄は進軍して貰ひたい、イルクツクは頗る歷史を有する地點で露西亞が浦鹽に根據を得る迄はイルクツクを東方政策の根據地として學者連の往來甚だしく最も研究に値する處である、自分も是非一度は研究して見たいと思つて居る、何でも今より百三十年許り前の寬政年間の事であるが

伊勢國白子濱 に魚漁を業とする幸太夫、新藏の兩名が沿海州方面へ出漁中漂泊して露領に揭がり內幸太夫のみは歸されたが新藏は其儘イルクツクへ連行かされた、當時露西亞では東方政策に腐心して居た時代ではあるし漁夫新藏に就きて日本語の研究を爲し且つ事情を逐一に聞き取つた而して茲に新藏の口から洩れた一言一句は總て

▽字引の 上に顯はれて日本語の傳播する端緒となつた譯であるが此點に想到すると新藏は幾分文字を解する者であつたらしい今でこそ日本にしても露西亞文學にカブレたり研究したりするが僅に日本の一漁夫が字引こ爲り研究材料となると云ふ事も面白い時代が齎らした現象ではあるまいが而して新藏は遂に再び歸らずイルクツクで命を終つたが一方日本へ歸された幸太夫が當時の名主

白川樂翁公に 引見されたが當日幸太夫は露西亞服を著用して出仕したと云ふ、そして露人は非常に親切で大變歡待を受けましたと奉答すると樂翁公の問ひが又頗る味ふに足るではないか『其麼に親切で有難かつたのか、日本と露西亞とは何れが有難いか』幸太夫が如何に答へたかは詳かでないが此の單純な言葉の內に先覺的の日本

▽國民性 が躍如として居る之等は我國に關する一例に過ぎないが兎も角イルクツクは是非一度視察研究して見たいものである

□新大臣と宮中席次

廿九日內閣更迭の結果宮中に於ける席次は山縣樞相、松方內府、德大寺公、東鄕元帥、大隈侯迄は從前の如くにして原首相以下元帥大臣の席次左の如く變更せり
△原首相△後藤法相△奧元帥△井上元帥△波多野宮相△長谷川元帥△朝鮮總督△川村元帥△加藤海相△寺內元帥△伊集院元帥△內田外相△高橋藏相△田中陸相△山本農相△床次內相△中橋文相△野田遞相△以下國務大臣班に列せる平田牧野伊東犬養各臨時外交調査會委員

○激戰は今明日

高師ケ原の陣地攻防演習

陣地攻防演習第一日は雨催ひの空低く迷へり防禦軍の南軍は頻に飛行機を放ちて攻擊軍の前進行動を偵察すると共に騎兵斥候は各所に出沒して敵狀の

★偵察に努 め一方塹壕を深くし鐵條網を張りて人力を以てしては到底破壞又は攻擊し能はざる堅牢なる陣地を構築し攻擊軍をして一歩たりとも塹壕內に侵入せしめざる

★準備を整 へ又攻擊軍たる北軍は一日拂曉前進行動を起し防禦軍第一線の前方約四百米突の地點に達して攻擊陣地に就き二日の夜半を待つて攻擊に出でんとし此處高師ケ原は將に

★乾坤一擲 の壯觀を演出せんとして戰氣既に漲り斯て兩軍の死力を盡して大活劇を開始するは二日夜に入りてなるべく三、四、五の三日間最も激戰を見るならん尚

★東宮殿下 梨本宮、久邇宮、李王世子各殿下を始め奉り各師團長等は一日朝來攻防兩軍陣地視察せり（豐橋）

○貨物列車大顚覆

東海道の椿事

二日午前四時三十分駿河足柄信號所附近にて品川發貨物列車貨車の車軸折損せる爲め十一輛脫線顚覆し折柄の上り貨車十一輛も亦顚覆し貨車に接觸して顚覆したる騷ぎに各列車共五時間延著せり（東京特電）

○救濟會の跡始末

殘金は他日の救濟資金
寄附金中八萬圓は消費

京城救濟會に於ける赤貧者救助米粟の施與狀況を聞くに十月二日救濟會本部に於て救助券と引換たるもの內地人一戶四名に對し米五升粟五升を施與したり元來施米事業は既に新穀の出廻りと一般人氣の鎭靜により其必要を認めざること、なりし結果客月二十五日限り明治町元漢城病院跡及び龍山京城府出張所に於ける施米取扱所は

◆之を廢止 せるも既配給施米券の引換へは依然之を取扱ひつゝあるものなり廉賣は九月二十八日廉賣券の配付を最終として九月三十日限り停止したるを以て三十日以後は各廉賣取扱の白米小賣店に於ても廉賣を全然打切りと爲したること言ふまでもなし尚ほ當事者の談に依れば目下廉賣券の發給數廉賣取扱石數各白米小賣商店への補給金額其他救濟會事業の跡始末に

◆多忙を極 め救濟會寄附金其他の淸算事務に忙殺され居れり救濟會事業の最も繁忙を極めし當時は一日の廉賣石數四百石を超過し其の經費四千圓を費したることあり大約平均に於て一日二千圓の經費は免れざりし所ならむ而して救濟事業の繼續期間は八月十七日より九月末迄約四十餘日の長きに亘りし結果此の間消費したる金額も亦最少限度に見積るも尚八萬數千圓を超へ即ち救濟會寄附金の大半を

◆消費し盡 し餘す所一萬餘圓に過ぎざる事こ爲り此の救濟會寄附金中の殘餘一萬餘圓は府尹に於て之を保管し他日の救濟資金に充當する事となるべしと觀測せらると今赤貧者救助狀況の累計額を見るに內地人側は百六十八戶六百三十二名（內大人三百二十四人小人三百八人）に對し米九石五斗五升、粟九石五斗七升合計十九石一斗四升を施與し

◆朝鮮人側 に在りては二千二百八十三戶五千四百九十四名（內大人五千四百四十五人、小人二千四十九人）に對し米八十九石二斗九升、粟八十九石二斗九升合計百七十八石五斗八升を施與したること、なり居れり即ち內鮮人を通算するに施與石數百九十七石七斗二升、施與戶數二千四百五十一戶人員六千百二十六名に達し居れり

○都野川が旅館で 晝寢してる處へ

踏み込んで難なく逮捕
居所は友達が知つてゐた

蔚山商殺しの犯人都野川義雄が大阪にて逮捕され目下護送中なることは既報の如くなるが今度犯人逮捕の顚末を聞くに犯人の跡を追うて內地に向へる小松警部は曾て朝鮮にて土木請負を營み目下大阪に在る池田長次郎こ呼ぶ男が犯人と

◈親交 あることを突き止めこれぞ唯一の手染こ直ちに大阪に赴き南署の應援を求め同署の刑事に偵邏總出にて旅館調べを行ひし結果漸く前記池田が南區綿屋町の某作旅館に泊れるを探り當て同人に就きて取調べし末兇漢義雄は北區船大工町の旅館に目下宿泊中なる旨を知り卅日午後三時同署の川添、越山、井上の三刑事、中村、坪田兩偵邏と小松警部が同旅館に乘り込み

◈晝寢 せる處を難なく捕縛したり、同人は二十六日釜山より乘船し下の關こ姬路にて泊り後大阪に來たるものにて懷中には七八百圓より所持せず義雄は長崎縣立中學を卒業後一年志願兵として久留米十八師團五十二聯隊に入營せるものにて目下豫備少尉なることは既報の如し

▽身柄は 今夜著く
直ちに訊問

都野川義雄の身柄は既報の如く三日夜九時十分南大門驛著の列車にて護送され著驛と同時に自動車にて本町署へ護送されたる自動車にて本町警察署に送られ直ちに訊問を開始さるべき筈なり尚犯人の爲大門驛到著時間には永野警視、小牟田本町署長、同奧村司法部主任等本事件に關係ある幹部は同驛に出迎ふべく何しろ犯人護送に自動車を用ふるは本町署創設以來始めての事なりと云ふ

○『犯罪の裏の女』から

有力な搜索材料を得た
連絡を保つた各隊署の活動
京畿道警務部長 鹽澤太佐談

蔚山商殺しの犯人逮捕上部員を督勵し活動苦心を爲したる京畿道警務部長鹽澤憲兵大佐は左の如く語る
自分が此大兇行事件を知つたのは兇行の翌日の二十日であつた當時出張中であつて平澤に居つた時に右の事件の電報に接したのであつた何分近來にない出來事で其

◇兇行の度 の大きかつたので一般世人に對し一は本人及び家族に對し一日も早く犯人を逮捕せねば濟まぬと痛切に感じて檢閱も豫定があつたに拘らず可及的早く切り上げて廿三日自動車で歸京し急いで警務部に直行して犯人搜索に關し京城府內各警察署長及び永登浦警察署長をも召集して第二期計畫を樹てたのであつた此第二期搜索計畫に則つて京城各警察署憲兵隊及び永登浦警察署の各職員が

◇互に連絡 を維持し而して各自受け持區域の各部々々を出來る丈け晝夜兼行に搜索することにしたのであつた自分としてはドウも此犯人は京城に關係のあることゝ觀察したので、一面この時永野警視副官及び寺島警部等第二期搜索方針を決定したこの計畫こが効果を早からしめたものである。近來科學的に出來且つ行はれる事件は矢張り

◇科學的に 搜索方針を立て、統一して活動を開始しなければ早く其端緒を得ることが出來ぬこいふ所から二十四日午前九時から警務部に府內各隊署長及び各警察署司法主任並に永登浦署長を加へて會議を開催し大體の方針を決定して同日午後一時頃から其方針で進むことゝなつた。各隊署は區域を縮小されて大變仕事が安心して出來その上迅速に運ばれることに至つた譯である。先づ

◇大體方針は （一）旅人宿、官衙、代書等に付いて犯罪を調査すること（二）銃砲店にて銃砲の買賣其他を調査する事（三）各理髮店に付き人相を搜査する事（四）各料理店飲食店等に付き浪費して派手に散財する者を調査する事（五）各質屋の質物を受出したる者の有無の調査（六）古着屋古物商にて衣類の買入の有無（七）在鄕軍人にして素行不良者の兇行前後の動靜（八）郵便局、電信局、銀行等に付き最近多額の送金をなしたる者の有無（九）印版屋に付き永島の印版依賴者の調査（十）十九日朝蔚山と京城との電話

◇交換者の 調査等であつた以上の方針に依つて能く各隊署が連絡を執つて活動したのが此搜索を良好ならしめ各部々々が詳細周到な力を分配する事が出來たのと一面新聞通信に於ても一時記事を愼んで貰つたのと、此事件が一般の人の各方面から大いに同情を得て京城郵便局の如きも電報の繁期にあるに當り、內地との通信を迅速にして貰つた等が此事件の進行を良好ならしめた事を衷心から感謝して居るのである

◇犯罪の裏 には女あり こいふが通則の如きも此の女から搜索材料を得たこいふなどは一層這間の消息を味覺した譯である兎に角近來稀有な此重大犯人を兇行當日後二週間を出ずして逮捕したのは幸ひであつた。

▽陸軍始まつて以來の

大演習

歐洲戰其儘

三河高師ケ原天白原平野に亘る陸軍特別攻防大演習は一日拂曉より開始されたるが歐洲戰亂の實見より得たる各種陸軍各兵科の最新知識こ武器を基礎とせる陸軍ありて以來の大規模最新式演習なれば上原參謀總長以下各師團各旅團長其他の觀戰武官も頗る熱心にて皇太子殿下には三四五の三日間演習地に行啓ある可く久邇梨本兩宮も御觀戰の筈にて豐橋市は空前の活氣を呈し居れり（東京特電）

○自動車檢查

來る五日より十三日迄京畿道管內に於ける自動車の定期檢查を行ふ由

○營農の傍 氣象の觀測

全北の川崎農場主
氣象學會から表彰

全北沃溝郡川崎農場主川崎藤太郎氏は南鮮の篤農家こして知られたるが同氏は農事經營の傍ら去る明治四十一年以來氣象觀測を行ひ爾來今日に至るまで十箇年以上に亘り忠實に繼續し其の成績は同地方土木水利事業等の唯一の參考資料として尊重せられ居れるが同氏は更に本年私費を投じ以て暴風警報信號所を設置する等氣象事業に對する功勞尠からざる爲め今回大日本氣象學會より賞牌を授與せられたりこ同賞牌は氣象專門家以外の功勞者に授與する爲めに新に制定せられたるもの、由にて朝鮮より同氏の如き篤志者を出したるは名譽こ云ふべし

大掃除

＝四日＝
左記各町は大掃除施行すべし
永樂町二丁目、若草町、本町三丁目、倭城臺、日出町、南山町三丁目

○文展鑑查は七日から

文部省第十二回美術展覽會出品請は來る五日を以て締切るにつき翌六日審查員總會を開きて審查方針につき打合せを了したる上七日より三日間鑑查をなすべしこ

○二貫目の金塊

支那人密輸出を企つ!!!

支那安東縣永安街船具商秦殿元(三こは去月二十一日店員一名を伴ひて京城に來り苑南洞八十番地なる支那人料理店に投宿し鍾路番地不詳の鮮人李與植より金塊二貫目代金九千九百圓に相當するものを購ひ同月二十六日正午頃新義州驛に下車し該金塊は店員と等分して各自の腹卷に納め安東縣に密輸出を圖らんとせしも新義州稅關支署に發見され目下取調中なりと

○本願寺少年大會

若草町本願寺內日曜學校にては六日(日曜)午前九時より午後四時まで『秋の集まり』を催す由にて午前は表彰式に次で本社龍山秀光氏のお伽講演、午後は趣向面白き兒童の對話、活人畫其他の餘興等ある筈

○驛喫茶店移轉

南大門驛喫茶店は今回待合室として使用する事となりたるを以て右喫茶店には特別待合室を充つる事として不日移轉すべしと

○獵犬

毛色は白勝のものが流行す

愈々獵期に入つたが英國仕込みの獵犬は內地や朝鮮の獵場では地勢の關係上使用が出來ないから輸入がなくこも獵銃取困難は感じないが如何しても良犬が輸入されないので

▽自然良犬 の繁殖が少くなつて居る獵犬は世界で有名なインクリッシュポインター種こイングリッシュセッター種が流行で毛色も四五年前迄は濃厚な

▽楊木打こ 云つて雉子上獵服も木の葉色なら獵犬も是非木の葉色でなければならなかつたなこ木にこまらして射擊した獵服ものであるが今では獵服などのカーキー色が流行しないのと同じ樣に獵犬の毛色も白勝のものが却て

▽流行して 居る獲物によつて獵犬の種類にもいろ〳〵あるが總ての鳥類に向つて應用されるポインター種こセッター種はいつ迄か流行を續けるものであらう是等の獵犬の價格は優等のものは一千圓以上

▽雜種でも 獵獲の確なものは二百圓前後こいふこころも優等なものになるこ二百圓位が相場である水獵用こしてのスパニール種、レトリーブアー種なご未だ獵獲の訓練してない兒犬の如きは二百圓前後で可なり上等のものがある

運動界

▽鐵道野球大會

一日午前八時より龍山鐵道公園に於て鐵道秋季野球大會を舉行したるが出場選手は庶務、工務、經理、倉庫、保線、給仕、運輸、龍山驛、工場の十チームにして初め經理課は庶務軍を一蹴し仕軍は保線を八對七にて破り庶軍の勝經理課は十六對八を以て倉庫軍を一蹴し龍山驛軍は十二對六を以て運輸を破り工場軍は十六對四にして運轉課を擊破して一勝者戰を終り午後四時より工場對給仕軍の二勝者戰に移り給仕軍奮戰よく七對二を以て工場軍を破れり尚來る五日には殘軍の二勝者戰こ優勝者戰をなす由

嘉納氏講演會

東京高等師範學校長にして講道館長たる嘉納治五郎氏の來京を機とし左記に依り一般人士の爲め體育に關する講演を請ふ事と相成候間多數御來聽を希望いたし候

日時 十月五日午後四時半
場所 日之出小學校講堂
演題 未定

主催 朝鮮新聞社 京城日報社

○東京の成金稅

四百萬圓內外

▼個人こ法人こ合せて約六千五百萬圓もあるだらうこ見込

最初此成金稅は政府では個人の分は全國では一千萬圓もあらうこ當局は睨んでゐる、その內東京こ大阪で……大正七年度分は二百五十萬千八百十圓三十五錢で市全體の半分以上を占め內此第一期分こして納め……

小さくなる

過日の暴風雨にて缺損せりこの時ありし伊勢二見浦女夫岩の雄岩は……

○連絡船上陸客 二日

午前入港高麗丸一二等客……

天氣 少雨

演藝案內

本町三丁目 電話五七八番 壽座
來る十月四日より開演 ▲日本一節御元祖浪花政吉一行 想員六十餘名大一座

本町一丁目 電話一〇五〇 壽館
浪界新進之俊斗京山愛虎大一行 丸(我田越前守(京山愛行)吉田御殿 二奴(井原友)正直車屋 京山青海 大石妻子別 宇都宮車立街 京山愛虎
餘興 二上り新內米山出句入り

有樂館
早川演藝部直營 活動寫眞常設館
東京小林商會電話一手代理店 米國ユニヴアサル會社特約
當る十月四日より特別大興行 世界的權威ある文藝寫眞 米國ユニヴアサル會社山島新映畫

◎人情劇故鄕の母 五卷

◎大活劇啞娘 全八卷

◎第三回灰色の幽靈

◎滑稽デブ君の僥倖

◎絕海奇談『孤島の花』五卷

黃金町 大正館 電話八七三

新派悲劇金色夜叉

自殺か他殺か…悲劇 疑問の死 全四卷

黃金館 電話(夜間)二六二七

浪花館
明治町二丁目 長電二六〇番
九月二十二日開演 京阪落語若手大一座
▲落語、手踊 三遊亭 ▲落語、指の運動 笑福亭 ▲落語、浪花節 三遊亭 ▲落語、香曲、手踊 笑福亭 ▲奇術 シャケラ ▲落語 三遊亭 ▲大切喜劇 香曲、手踊 三遊亭

文樂座 電話一三八番
京城本町五丁目 元稻荷座改

織元から買へば吳服屋の半値段

足利町は織物大產地として有名なるは既に各位の知る所にして當諸地で五圓で買へる品も中次、中央市場、問屋、吳服店と云ふ品の手を經て需要者に渡る時は驚くべし織元原價の約倍額となる弊店にては諸物價騰貴の折柄工場各位の御利益を計り弊工場特製の優良品を其の原價即ち現服以來各地の需要者間に大好評を博しつゝあり……

時計 貴金屬 仁川 本町

寫眞 出張撮影 寫眞銅版 寫眞製版部

荊妻マル葬儀之節は遠路御會葬被成下難有御禮申上候尊名御混雜之際も難計候以伺御挨拶申上候
十月三日
松尾茂吉
親戚一同
友人一同

…げは念、九月中に第一期分を納めしなければならぬ筈の處何處の區役所へ行つて見ても まだほんのばかげしが集まつてるなかつた
…大所ではないらしい、但し法人の分は何分根本の所得課税額すら以前からの分が決定してない所もあるので之れは一寸豫想がつかない
が大部を占めて東京市全體は四百二三十萬圓が關の山だらうと云ふ事である、東京市内で尤も多いのは日本橋區であるは云ふ迄もなくである（東京）

二見浦女夫岩は無事

…にある方解石隕落して陷落したるに過ぎず七五三繩を整理せるに幾分小さくなりしと（宇治山田）

作田まね、堀切證五、…、中岡すみ子、同貞一郎、氷村信夫、原平次郎、野上住五郎、江崎いしよ、同熊市、同とし子、井上さも、同よし子、中村作次郎、安川伊三郎、渡部徐平、山道小松、松田りく、瀬川久吉、梅村やす、村田ゆり、梅村…田存、…松一郎、白抵喜四郎、前ごよ外八二名
三等（百七十六名）
二日午後入港博愛丸一二等客
一等（十二名）盆田六郎、高橋義男、眞野…岡米子、同元子、黒澤三郎、河島依清郎、山口徳夫、金子くま、河部力太
三等（百三十七名）

豫報 但 曇

京城測候所 華氏 六十九度六分 攝氏 二十度九分
前日最高溫度 華氏 六十八度七分 攝氏 二十度四分

黒龍江の航行權

邦人の乘ずべき絶好機會

黒龍江航江權の有望なる事は夙に世人の注視を惹き露國擾亂と共に其航江船を手に入れようと奔走した者尠からず我日本人の手に入つた船も數隻に上り一時優勢の域に達したのであつたが過激派跋扈と共に過激派の憎惡を買商船と雖も之を沒收するさ云ふ宣言を發した結果日露兩國汽船全部は折々沒收の厄に逢はんとした事一再でなかつた爲め其厄運に脅かされて停航の餘儀なき次第に陷り只僅二三の支那汽船に依り黒河其他黒龍江沿岸の物資は供給されて居つた爲め其輸送の困難なる事實に言語に絶し食糧品の如きは缺乏の極値段の高下を論ぜず手當り次第買收するさ云ふ

其の毒手に掛かり

窮境に瀕したので

あつたが既にハバロフスクも占領され沿岸各地の過激派は其影を沒した爲ハ哈間の航路は自由を得何等心配なく輸送の實行に着手する事が出來已に露國アムール公司の汽船を初航に露支汽船は盛んに往來を爲すに至つたと云ふ之より黒龍江沿岸各都市は

物資の調節を得る

事であらう松花江流域以外に出づる事が不可能であつた日本人所有の汽船もこれから遠く黒龍江に往復出來黒龍河方面に於ける日本人に對しても其不足物資を供給する事が出來よう北滿航江權の復舊は日支軍輸の上にも間接或は直接に多大なる援助を與へ得る事であらうと大いに期待されて居る（奉天）

北滿産業調査

◆滿鐵會社の大活動◆

北滿産業に關しては世界一般の注意を惹き夫れが調査に腐心するもの尠からず上海に於て北滿方面經濟事情調査會なるものを組織しそれが調査に着手すべく目下夫々準備中なり我南滿鐵道會社に於ても夙に社員宮崎張義氏を浦鹽に派遣し東清鐵道狀況調査中なりしが尚ほ今回其調査範圍擴大すべく調査課より松原喜久哉、大谷彌十次の兩氏を選み更に北滿出張を命じたり同氏等は哈爾賓を中心こして黒龍江省一般の産業調査をなす筈にて孰れも往復三ヶ月の豫定にして其手の及ぶ限り極力調査を遂ぐる害なり又地方課に於ても嚢に農務部員攝待初郎氏を派遣し在滿農事の視察をなさしめ居れり其他實業家個人こしても北滿に於ける鑛業の調査等を爲つゝある者は擧げて數ふべからず此等人士の精密なる調査が一般民衆に紹介され有望の程度が熟知さるゝに於ては北滿實業家は更に一層の進展を見るを得べし（奉天）

滿洲農産物の正確なる調査

大體に於て樂觀すべし

滿洲農作物に關する調査は甚だ區々であつて總まつて統計を見る事は出來ないが近頃成筋の調査報告に依れば本年は概して降雨多量であつたが長春以北吉林方面には雨量極めて尠なかつた地方もあつて其の地方の作柄は稍々に依つては凶作を免れないものもある其の他滿洲一圓は初夏の候に於ける蟲害の影響を受けたる地もあり

全滿洲を平均せば

先づ平年の八分作こ見ば大差なからう滿洲特産の大宗たる大豆は水害を蒙つた土地の外は凡そて各地共發育可良であつて結實優良なれば鎌入れ後の實收は豫想以上の增收を見るかも知れない高粱は滿洲平均して七分作位なるべく其他雜穀は地方に依り多少の差はあるが

開原から遼陽迄は

概して作柄は良好である

又本年滿洲に於ける水田は其作附反別非常に增加したのには驚く程であるが水稻耕作法は未だ幼稚であるから全部佳良なりと見るを得ず併し大體に於ては極めて好結果であつて殊に安奉線一帶に於ける水田の如きは日本内地東北地方の水田を凌駕する程の出來榮と云へば從つて

米の實收も昨年の

十萬石に比し數萬石增收であらう又南滿製糖に於て疑勵しつゝある甜菜の如き各地共甚だ順調に發育したれば豫想以上の收穫あるべく又各穀類等も亦頗る良好なる作柄であるこ（奉天）

北鮮は景氣の好なる許

産業勃興す

清興鐵道の開通に至ぎ日本海横斷航路の實現を見るに至り從來交通機關不備の爲め開發の運々たりし咸鏡北道の産業も俄に勃興の機運に向ひ數量豐富にして價格低廉なる石炭の利用森林の伐採其他鑛山の開掘漁業の發展等に着眼し近來諸方面より道廳其他に頻繁に照會し來るこ共に視察客の多數なるは將に咸北道經濟界膨脹振興の象徴にして尚は新規企業の會社出願等も既に許可せられたるもの十有餘に及べる等異常の勢ひを以て進展しつゝあるが更に吉會鐵道布設の曉には各種の産業は一層隆然として興るものあるべし（清津）

★時局と牛★

國境方面の牛價格は出兵影響に依り需要激增の爲め著しく高騰せるが近年需要地には蒙古牛山東牛の出廻り多く爲に供給過剩の爲價格の暴騰を來し本年上旬頃迄一封度日貨十一圓内外を唱へつゝありしもの昨今八圓内外に低落し商勢甚だ不振の狀勢なるが現在對岸路頭標秋には鮮領より輸出の牛約五百頭集中し居れりこの事にて尚ほ價格下落せんとするの形勢にありこ（滿洲）

新義州特産 楓のエツキス

―何に使ふか―

◆貴重なる染料の原料◆

殘渣までも立派に利用す

既報新義州に於ける營口起興公司寺尾德欣氏の經營に係る楓葉エツキス製造工場は内外の工事落成したるを以て其試驗的製造を開始したるに成績頗る良好にして去月十九日其製品三千十五貫價格千百二十五圓を始めて營口に輸出し以來引續き製造を開始せり抑も寺尾氏が營口より新義州に來て此の製造事業を開始するに到れる動機は同氏が營口に於て穀類木材及染料等の取引をなし居る關係上曾て朝鮮總督府某氏の同地に出張せる際勸說する處ありたるに始り後大正二年頃同氏の朝鮮視察に於て其勸說に赴ける際更に京城の總督府の當局と相見え種々折衝の結果新義州が原料の豐富にして果して有望の事業なるを確めたるを以て該に網羅上地理的至便の地と認めたる新義州を卜し其工場を設立するに及べる者也（新義州）

◆原料 たる楓葉は元來朝鮮の特産品にして從來原葉のまゝ支那に向つて輸出し來れるものにて其數量付實に夥しく輸出年額約三百五十萬斤にして其販路は營口地方に三百萬斤奉天地方に二十萬斤安東地方に三十萬斤と云ふが分配狀態にて其他滿洲各地に向つても多少の輸出ありたるもの、如くなり楓葉エキスとして其を輸出するは今回を以て

◆嚆矢 とするものにして習慣を更むるに困難なる支那人に對する取引上苦心を要すること鮮少ならざるべきも其使用の原葉を用ふるに比して甚だ利便なると其價格の低廉なるは其需要を喚起すること必ずしも難事にあらざるべく要するに

◆有望 なる事業たることは疑ひを挾むの餘地なきものなるべし楓葉エキスの用途は主として布帛の染料として使用せらるゝものにして從來支那人間に於ては綿布の黑染用として用ひらるゝに止まりしもの、如くなりしが近時染色技術の進歩に伴ない其色合も多種多樣にして黑の外に紺

◆カーキ 色、鼠色、鐵色等にも使用せられ其染用する品種も綿布の外獸毛絹織物柞蠶絲羅紗地麻織物等一さして可ならざるものなく殊にカーキ色染料に適するを以て同染料の内地に於ける生産なきを遺憾とする折柄本品の產出するに至れることは國益上又尠からざる效果あるべきものなるべし支那に於ける本品の

◆競爭 品としては獨逸製ロッグウッドエキス及び西班牙製スマックにして孰れも相當聲價を有するものなり而してロッグウッドは主として色澤を鮮明にする目的を以て絹織物染料に使用せられスマックは布帛の增量を主たる目的として絹織物に使用せらるゝものなるがシンナムエキスは

◆色澤 染料としてはロックウッドに比し稍遜色あるも尚相當の色澤染料たる價値を有し增量用としては原品に對し二三割の增量力を有しスマックと略同一の成績を示す

◆價格 はロッグウッド及びスマックに比し略同一の見込みなるも色澤增量の兩效能を兼備する外色合は嗜好に應じて染得らるゝを以て其利便なること遙に是を凌ぎ加ふるに地理的至便なる地點に於て製造する丈諸掛諸稅等の

◆節減 を見る等結局最終の勝利を得るこ確實なるべし楓葉エキス製造以前に於ては楓葉の輸出額一箇年約十萬圓に於て上れるものはエキスの輸出と共に皆無となるべき譯なるもエキスの輸出額は是を

◆全部 輸出するこすれば二十七萬圓にも上るを以て其利害一見して明瞭なるべきなり

尚寺尾氏の新築せる同製造工場は其敷地面積二千坪倉庫二棟二百坪職工宿舍一棟は百四十坪合計四百六十坪にして使用人は六十名（三十名純粹夜交代）にして其投資額二十萬圓なり

◆殘渣 エキスを製造せる楓葉の殘渣は牛の飼料に恰適し蛋白質二十パーセントを含有し米糠に比し遙に良好にして價格も大に低廉なるを以て乳牛飼育者等の歡迎する處なり右殘渣一箇年の産額約二百萬斤

◆假に 百斤三錢とするも約六萬圓の收益を得る見込みある由なり以て同事業の益有望なるを信ずるに足るべし（新義州）

忠北と棉作

永同にて 八島生

一日より三日間永同公立普通學校に於いて開催せられたる忠淸北道陸地棉作十周年記念聯合品評會は豫定の如く一日午前八時小原農商工部長官豐永中央試驗所長長田、宮本兩技師等出張臨席の上數發の煙火を合圖に開會せらる會場たる同校講堂は紅白の幔幕を引廻し會場入口及び驛前二箇所には大アーチを設け殊に開會期間中は同町々民敬意を表する爲め町内兩側は萬國旗及び提灯を吊せる外同地線綿會社にては特に活動寫眞を開放して賑ひを添へ居れり會場には出品棉作一千點の外參考品として忠北生產物數百點をも陳列し一般觀覽せしめ居れるが棉作一千點に對しては嚴密なる等級審査の結果一等二十名二等四十名三等六十名四等百二十名入賞し三日夫々賞品授與こ同時に十年間功勞者三十名に對しても賞品授與終了後豐永博士棧田技師の棉作に關する講演あり尚ほ當日は恰も同地大神宮祭例をも併せて擧行せられ市中は雜沓せり右棉作の事に關し宮本忠北道技師は左の如く語る、曰く、忠淸北道で陸地棉の栽培を始めて永同に試みたのは十年前の明治四十二年で當年は總に一萬三千八百斤を收穫したのみであつたが其後各郡を驅け巡つて栽培獎勵の結果十年後の本年は五百四十三萬七千五百斤即ち五百四十倍と云ふ好成績を擧げるに至つた之を時價相場に見積つて見るこザット百四十萬圓になる先づ是迄にするには度々食を忘れた事もあるが清州郡の如きは昨年二千三百町歩の作附であつたのを本年に入つて大英斷を振つて五千町歩に增た但し毎日辭表を懐にして居た事を今玆に告白する斯く發展し來つた十周年記念であるから本道ならば道所在地の淸州でやるべきだが殊に永同を選んだのは本道最初の棉作地で記念とするに最も意味あるからである

京日暦

京城標準時

	(日出)	(日入)
一日	前六、二六	後六、一〇
十五日	前六、四〇	後五、五五
廿一日	前六、四六	後五、三六

(日)	(晝間)	(夜間)
一日	一一、五一	一二、〇九
十五日	一一、一八	一二、四二
廿一日	一〇、五〇	一三、一〇

一日 併合第七週年記念日 ▲獵季初まる（但し西鮮地方は九月五日より）

五日 淨土宗十夜詣▲達磨忌（今より千三百八十三年前十月五日支那梁の大同二年達磨大師入寂）▲葡萄牙共和國祭日▲舊九月朔日

九日 寒露 前二、四一

十日 支那共和國祭日

十二日 日蓮宗會式▲芭蕉忌（今より二百二十八年前延寶八年十月十二日俳聖芭蕉逝く）

十三日 日蓮宗會式（今より六百三十六年前弘安五年此日日蓮聖人入寂す）▲上弦（後二、〇三）

十六日

十七日 神嘗祭 十三夜

二十日 滿月 前六、二三 ▲えびす講

廿一日 土用（後一、三〇）▲京城淨土宗開教院の十夜詣（廿五日迄）

廿三日 靖國神社大祭

廿四日 霜降 後二、三三

三十日 天長節祝日

◇◇日曜◇◇ 六、十三、廿、廿七

製鐵所

工場鐵道は延長

約六十八哩あるのであつて機關車の數は七十六臺に及び八幡及び枝光兩驛に於て鐵道院の線路に連絡しているのである其他附屬病院及び職工養生所等の設備も完全に出來てゐる斯く迄になつたのは非常なる發展と云はねばならない然し現下に於ても國内に於ける鐵鋼の消費額に對する供給力は前述の如く不充分であるが此後七八年を經ば約二百萬噸の消費額に達すべくさすれば當所に於ては其需要の半ばをも供給する事は出來ない目下に於いては米國鐵の輸入に依つて此不足を補ひつゝあるのであるが

朝鮮に於ては

黃海、江原、平安、咸鏡の諸道に於いて現に露頭を現はせる鐵山も決して尠くはない、さすれば軈ては是等の製鐵事業の發展と滿鐵に於ける鞍山站製鐵事業に依つて我國の不足額を補ひ得べく玆に鐵國策の成立を見る事が出來るであらう幸ひに朝鮮に於ける斯業の發展を祈る次第である（東京支局）

殘酷極まる

胡瓜の蠅＝岩石で頭を亂打す

◇僅か二十六圓の爲に◇

平南大同郡內川面內里生れ當時住所不定の崔錫柱（三）と云ふ窃盜前科二犯の不良漢を渡りて胡瓜の蠅を働き居る曲者は嶽皮商朴君範（ト）こいふ者が商用を帶び平北博川方面南宮里山中の溪谷に於て不意に赴く途中道連れとなり朴が道不案内なるを奇貨とし博川街道に導かず大同郡斧山面道路に誘ひ行き朴の頭部を亂打に岩石の片を以て朴の頭部を亂打し朴の卒倒するを見て所持金二十六圓餘を强奪し其儘逃亡せしが被害者は暫時にして蘇生し此由最寄駐在所に訴へ出でたれば被害者には應急手當を施し一面八方を搜査中平壤大同江岸を通行中平壤署の賀松、金、張三刑事が逮捕せしが强奪せし金は全部酒色の爲めに消費せりこ（平壤）

平壤の横領犯

龍山で捕はる

◇娼妓四人に逆上せて◇

平壤大和町某運送店雇人福岡縣久留米市日吉町武藤秀雄（二）は去る五月上旬より同廓町遊廓貸座敷長崎樓抱へ娼妓吉彌及び永樂樓の晋丸、靜樓の妙子、美好樓の千鳥等の許へ足繁く通ひ居るを平壤署の寺田刑事が怪しこ見て取り探査中果して宮川醬油釀造所外二十餘所に於て二百餘圓の集金を爲し之を横領着服し尚ほ主家の自轉車一臺（七十圓）を窃取し去る七日早くも風を喰つて逃亡せしより早速京城、龍山方面へ手配りを行ひ置きたるに其後龍山鐵道第二合宿所の某方に潛伏し居る處を龍山憲兵分隊の手に捕へられ平壤署へ押送せらる（平壤）

★慰問袋

どんな物が好いか

出征將士に贈る慰問袋さて何んなものが好いか、同じ贈るなら成るべく嚴選改良の趣向を凝らし假令金高は少くつても皆つた先方で喜ぶものを贈りたいといふのは一般の人情であらうそこで色々世間の振合を聞いて見るこ先づ

◇品物 としては第一に實や氷砂糖、かき餅、砂糖豆、歯磨、繪葉書、巻紙、状袋、仁丹寶丹清心丹の類でズット奮發すれば眞綿が向ふで至極重寶である

◇更に 安上りの物では古新聞雜誌こ夫から防寒用の唐辛しあるが賣藥類は市中の賣藥屋で談して見たら恰好な物を選んで呉れる而して絆創膏類の類も

◇面白 からうこ さうして同情を罩めた手紙を封入する抔も先方へ此方の心意氣が屆く譯である

◇考案 を要するこ、即ち手拭ひを縫合せ之を解けば直ぐ役に立つ様にする抔も面白い思ひ付である

安東縣より

安東支局 一記者

◆鴨綠江上流匪安縣通化に馬賊襲來の際敵手に拉去せられたる安東警務署分遣巡査海澤某は今に奪還するに到らず候日支官憲に於ては萬金の策を取て其奪還に熱中しつゝあるには相違なかるべきも今一層の努力を希望せざるを得ず候

◆過日安東市中に流言蜚語を放つものあり、水道水源地に獨探こも見るべき二三の鮮人徘徊し居り貯水池に毒藥を投ぜるやの疑ひあり若し果して事實こせば由々しき一大事なりこ、殊に在西伯利の不逞鮮人は獨逸俘虜及過激派の使嗾を受け滿鐵沿線に跳梁しつゝありこの風說と相照應して多少の懸念を懷かしめたるも其の結果は風聲鶴唳に過ぎざりし事こ判明致し候間安東市民も一大安堵可仕候

◆安義間の有志者は安東を基點こして大連、朝鮮兩餘の各港に航路開始の希望を有する者多く、屢々話題に上り、且つ研究の步武を進めつゝある模樣に御座候、安東縣の立場こして、且つ鴨綠江の水利を利し乍ら一の鐵道と大連汽船こ政記公司の特別船こを富てにせず今少し積極的方針の下に海運方面を研究するの必要はなきか

◆本年の秋作蠶は一般に不良との噂あり、之を春蠶の成績に鑑み、秋蠶時期の天候と降雨量に照し不作この悲觀材料は多々之有るべく候、何しろ一ヶ年一千萬圓を上下する柞蠶の豐凶は單り當業者の利害而已ならず安東市民こしても對岸の火災視する事は相成り不申候

◆米價は兎も角、木炭缺乏且つ價格暴騰、新材不足是又價格の暴騰甚だし、頃者鐵業家小川某、木炭買占の風說を流布せられ、且つ警務署の警告を受けたるに憤慨して數萬斤の木炭忽ちに進呈濟みこ發表するや、門前市をなすの盛況に數日間一斤十四目の無代進呈を爲して相成候由、安東縣にも此の種の有志家十人許り現はれなば聊か木炭の調節も行はるべきかと存じ候

〔張三李四〕

◆請負師の無錢飲食◆ 京城明治町土木請負業新潟生れ藤川清（三）は平壤に來たり大和町松岡旅館に暇町遊廓東京樓等にて無錢飲食せし爲平壤署へ拘引せらる

◆泥棒に好かれし家◆ 鎭南浦水道舍宅後藤某方にては深夜忍び入り女持金時計を窃取され其望々卅日朝も賊忍び入りしが今度は家人が發見せし爲め逃走せりこ

◆娼妓と老鴉の悪事◆ 群山山手遊廓貸座敷港屋方娼妓多賀みつは（二）は仲居陽茂益代（五〇）こ共謀し客の置忘れし九十八圓餘在中の紙入を窃取し共に拘引さる

◆十五歳にて賊の頭◆ 住所不定の崔享淳（一五）が頭となり金昌玉（一）鄭永澤（一）を手下に使ひ窃盜を働き贓品を金に替へ個ちたるを捕へしは鎭南浦の出來事

台所 其の日ぐ

◆玉菜サラダ◆ 玉菜の葉を一枚づゝ剝がし、細く刻み、水に漬けてアクを抜き、むく絞つて、サラダドレッシングソースをかける、ソースはバタ、メリケンをいため、玉子の黄味を解き入れてドロドロにし、鹽胡椒にて味をつけ、落花生油を二三滴たらし好く攪ぜ合ける

◆東京うはさの噂◆

電車の線路工夫が修繕くの如くなる可しこい工事をやつてるこころを見るこ電車が目の前へ來てるまで鶴嘴の手を休めない過ぎ去つた電車を見送るでなし來らんこする電車に注意するでなし只現在の鶴嘴の上げ下しにだけ心を注いでる即ち過去未來を脫却して現在に執着する事須らくかくの如くなる可しこいふのが吾輩の得たる處世訓さこは天岡貯金局長の談▲吏員嵐永田前局長のころへ處からか葉書が一枚舞ひ込んで『八年を經て猶哉』こ是れには宗匠も苦笑▲之を久しうすこある寺内内閣も明け渡しさなつて官邸引拂のためお歴々の大島陸相初め借家の無いのに閉口してる人が大分ある▲二階官房の首相秘書官竹屋子爵閣下は官舍引拂ひに先だつて八百屋から野菜を車に四臺かつたので知人の面々まさか八百屋開業でもあるまいがこ妙に痛氣に病んで證議してる（東京）

彈丸糧食に亟ぐ必需品!!

『愛する妻よ。

長驅息を入るゝ閑さへなく刄に血ぬらずして昨日ハバロフスク占領。實にも米國獨立戰に於けるラフエツト軍に彷彿たる我正義の軍隊に候へば向ふ處一敵も無之是れ畢竟『天は正義に擔する者を護り給ふ』へばこ存じ候。

申す迄もなく我軍這回の戰鬪參加は日淸日露の夫れとは全然其趣旨を異にし露國を獨逸の毒手より救ひ出しスラブ民族に自由と光明とを得させんとの武士的氣魄の發露に外なきもの故愉快も又一層に感ぜられ候。

今日此頃の西伯利亞の原野は秋風颯衣の袖を振ひ名も知れぬ秋草の咲き亂れ天澄み渡りお誂らへ向きの戰鬪季節に候へば我軍の意氣衝天の槪有之候。

とは云へ。油斷は大敵!! 今より愈々冬期に入る事に候へば我等身を淸潔に保ち且つ皮膚の保護を致候事寒氣で名高き露國戰場には特に大切なる事につき日常愛用致參候ベルベツト石鹸約半打防寒具其他雜品と共に忘れなう軍事郵便に附し留守師團經由御送附方賴入候。

蓋し我等戰士にとりベルベツト石鹸は彈藥糧食に亟ぐの必須品に有之候。

太郎坊も愛子も洗面入浴の節には小供の皮膚にも至極適應せるベルベツト石鹸御忘れなう御使用の件特に御注意申上候。

大正七年九月○日

ハバロフスクに於て

西伯利亞出征軍○○師團
騎兵第○○聯隊○○中隊
太郎愛子の
父より』

商況

東京期米特電
二日後場　三十二圓九十錢
三日前場　三十三圓六十九錢

兵庫期米特電
二日後場　一節　三十四圓三十一錢

大阪株式特電

種類	拂込額	一日後場
宇治川水	五〇.〇〇	
京阪電鐵	五〇.〇〇	
東洋紡績	五〇.〇〇	
合同紡績	五〇.〇〇	
鐘淵紡績	五〇.〇〇	
同上新株	五〇.〇〇	
東洋製糖	五〇.〇〇	
大阪商船	五〇.〇〇	
日本郵船	五〇.〇〇	
同上新株	五〇.〇〇	
堂島米穀	五〇.〇〇	
東京株式	五〇.〇〇	
大阪株式	五〇.〇〇	一七〇.〇〇

大阪三品特電
二日後場
九月限　四二〇.九〇
十月限　……
十一月限　……
十二月限　……
一月限　……
二月限　四一三.五〇

大阪期米特電
二日後場
四節　四圓九十錢
五圓四十九錢
止め　五圓五十一錢

下關期米特電
二日前場　各地安を受け寄付落せしも押目買反騰
寄付　……
高値　……
安値　……
止め　……
二日後場　各地一齊暴騰天氣續れ氣構へ買氣旺盛
寄付　……
高値　……
安値　……
止め　……

雜報

綿布穩健
大阪三品二日前場當限四百三十四圓九十錢先十六圓七十錢後場は米綿二圓安

十錢低落
寄限四百二十七圓先十六圓の入布は三銘十四圓五

の所は安値を…なる注文を控へ後始めて買附に著手せる有様なれば商情は兎も角穩健といふの外なく且つ海外の…際にもあり旁内地の…なり

正米更に昂騰
白米は元山の相當高値の注文入込み來り精米の内地より…

十錢高
…錢の見當に上れり…一圓五十錢前米は内…依然として高く…更に五六十

新政府は米價調節中止
…

減收は五百萬石
…

平年作と大差
…

殘存米の少
…一層需給…

下關相場
朝鮮米は…其後白米四百…

の均衡を缺く
…

米價の跳梁
…

次第に瓦落豫想は漸薄らぎつゝある

正米市場成蹟
京城正米市場は去九月十四日開始以來組合員の熱心なる活動と相場の公…取引の簡便に信用を得…

玄米	八一五七石	二九五四
新玄米	二十二石	二九九五
大豆	二五三二石	二三九三
中白	二五六石	一三九一
籾	二六一石	二八九五
粗	三石	三五〇
小豆	一三八石	一三二五〇
粟	七六四袋	一五三
白胡麻	七五石	一三三七
綠豆	一〇石	二七〇
手亡	三五石	一二二〇
蕎麥	七四八俵	七五〇
油粕	三〇〇〆	一三〇〇

鐵材依然不勢
鐵材界は製鐵入札の結果が漸次報はざる一方大造船所等の大需要が中絶せる爲め依然漸落の餘義なき形勢を示し…

一般に豫想程の低落はなかるべしと觀測す

臼米不引合

遂に不引合
…

内地麥類軟弱

一圓近く引上げ
…

麥安
…

鉛在荷品潤澤
…

七十八俠の廻著に過ぎざるのみならず期米市場の如き新甫立會の出廻りを見るや買物の…

一節を開始するに至りたる…十四

… 二三百俠の手合せ

本品は後場…

▲大豆は先づ保合　本品は既報…
▲小豆は弛ます
▲同（當用）　四十一圓五十七錢
▲同地一等…　四十一圓七十錢
▲同本月物　四十二圓二十錢
▲肥料の現況　依然豆粕…
▲朝鮮一等白立

仁川米豆取引所仲買人　米穀…　倉重保輔　電話…

各地商況

◎大邱米況（二日）
▲正米五十錢安　賣物は邪々持出されあれども昨日定期米の減切り安値を報じたるにつけば…
▲新大豆　本日賣方十五圓六十錢…
▲小麥保合　出廻り薄にして十七圓三十錢を唱へ…

釜山物改市場（二日）
▲玄米（保合）一昨日の市況は大阪期米の新甫も先月に比し百丁高を報じ來り…
▲玄米…
▲新大豆…

市場雜觀
▲昨日寄…大阪前寄三十三圓九十五錢…
▲後場寄七圓六十二錢中五圓七十九錢…
▲東京前場寄　三十二圓七十九錢
▲兵庫前場寄　三十三圓八十二錢

仁川期米
臨時休會
今三日前場も…臨時休會…十月三日

仁川正米

生魚市場
京城日の丸市場
本日は釜山元山仁川物等を合せ…

南大門廻穀

京城正米市場
…

雜穀類

商談不進捗

五十錢高の見當

仁川米豆取引所仲買人　仲買店　電話…

叺縄莚　穀物叺　石油叺及荷造用莚各種　大田本町二丁目　箕浦商店　長電話五二番

青物小賣値

きうり	五〇
うがん	四〇
ふじまめ	五〇
まつたけ	一〇〇
たけのこ	二〇〇
ゆりね	二五〇
みょうが	一〇〇
かいわり	二〇〇
あなご	二五〇
れんこん	二〇〇
はじかみ	一五〇
はせり	二五〇
わけぎ	一五〇
なたまめ	一五〇
どのいも	一〇〇
みつば	二〇〇
きのめ	二五〇
ぎす	四〇〇
だいだい	四〇〇
とまと	七〇〇
はなまる	二五〇

白米小賣値
一等白米　三十八錢五厘
二等白米　三十八錢

白米標準値
三十八圓丁度

精米賣買及業品…　仁川米豆取引所仲買人　廣澤正次郎　仁川海岸町三丁目　電話長一六番

仁川米豆取引所仲買人　仁川海岸町三丁目　今村覺次郎　電話長三三七番

東京前寄三十三圓六十九錢正米一圓高を入電に接し此場合大勢動かは

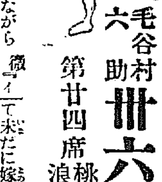
直示現し政府が米價を抑壓し…空前の新高

政府の施設方針は從來の米價調節を中止し自然の成行に委する事に決定したり

場も引續き臨時休會遂に今前

仁川米豆取引所仲買人　仲買店　電話長四四番

毛谷村六助　卅六番角力（ばんずまふ）
第廿四席　桃川桂玉口演　浪上義三郎速記



…微塵彈正は茶を喫みながら微『イヤ早いものぢやな然う云ふ伜があつて見れば何より樂みであらう』里『まア若樣、もう一ツお茶を召上れ、然て只今では何方に居らつしやいます』微『イヤ知つての通り實家は滅亡いたし、それより關東にて永らく武術の修行をいたし微塵流こいふ一派を立てゝ今は名前も微塵彈正と申し居る』里『それはまア結構なことでございます、嘸草葉の影にて御兩親樣もお喜びでございませう、若し若樣は、貴下がそれ程の劍術なら此の御城下在の毛谷村に六助こいふ人がございまして、それは神樣から教はつた劍術ださうでございまする、此の人に勝てば御領主樣がお抱へになて未だに嫁を迎へず、素より畑も田地も無し毘は終日山から山、焚木を伐つて僅な日傭ひ、却々親を養ふ程の力はございませぬ、長命するも苦勞なも、何ご若樣何分共にお願ひでございます』渡りに船と喜んだ彈正微『あゝ宜いともく承知いたした、安心をいたせ、畢竟貴樣も年を老て居ながら此の山中の小商ひ、是れも却々骨が折れやう』里『ハイ有難うございます、何に妾は先達まで此四里程の在方井上こいふ大藩へ雇はれて居りましたが、其家も俄の人減し、戻つて見れば偕遊んでと居られませんので、幸ひ此の茶店が空て居る故借受けて昨日が店開きでございまして其日の落ちるまで居りまして…

る』こいふ世間の噂、何故貴下は出世遠へお出になりません、微『ウム其話も聞いて居るが然し彼は武骨者で通常の相手では試合はいたさん、行ひの正しきこいふは自分も大好で親孝行じやこ云つて、其故奉公すまでもお上のお爲になる、然う云ふ者ならでは試合はいたさぬこ云ふことを承はつたが貴樣その六助を存じて居るか』里『イ、エ、一つ領分なれご此の山を隔てた北の方じや、宜い時貴樣に會つたが、幼な染の其方じや、殊更乳房をくわへた因み、俺も出世をする故に其方にも樂をさして遣りたい、又其方の伜五郎八も乳兄弟、行々は執り立てやらねばならぬ』里『イヤもう有難う存じます、お詞に甘へては濟みませぬが、あの伜めは孝行者ではございますれど、惡く申したら律儀眞方、イヤもう只々恐圖々々として暮して居りますのみ、彼の六助が見るならば、偕は……

商ひが四十八文、却々心細いことでございます』微『イヤそれはつまらんものじやな然うういふことなれば乳母も其話をいたすが彼の六助こいふは試合は腕に覺がある、ご主に忠を盡すこか、親に孝行をつくすこいふ者でなければ試合はいたさぬ、然う、其方を俺の母こしていたはり、侍き居る處を、彼の六助が見るならば、侍は老母へ孝行者此の者ならばこ話が合ひ、何處までも親こして彼こ立合、當家中へ住み込む此の身の出世が出來たなら、其方達母子を引取つて、五郎八を家來こ爲し、育てられたる恩返し、老先知れた其方の親こも爲して養はん』さしづめ俺の親こなれ』里『それは若樣餘り勿體ないことで』微『イヤ是は世に云ふ英雄人を欺く、懸うしてゆけば運びが早い』里『然う被仰れば妾共たい、それでは若樣御無禮ながらより若樣の出世も早くおさせ申したい』微『ウム、是からは阿母こ云ふてくれ、さア阿母』里『デモ何だか勿體ない』微『そんな事を申して居つては叶はん、さア母上』里『彈正樣』微『樣では叶ん』里『彈正……デございますか』微『ございますかは要らぬ。何處までも我子の樣に彈正こ云つてくれねば叶かぬ』里『ハイ宜しうございます』こ欺かれるこは知らずしてお里はいそく喜んで居りました。

◎安東縣近事

▲公所開業延期　安東信託公所の開業は略十月一日こ決定し居たるも猶ほ準備に遺憾の點あるを以て當事者に於ては遺漏なきを期する爲め數日間其の開業を延期したり
▲天理教秋期祭　滄橋通りにある天理教安東出張所に於ては來る十五日頃秋期大祭を執行すべく目下準備中なるが布教師の招聘に就ては目下人選中なりこ
▲式村氏の出張　無限公司業務擔當者式村茂氏は某會社の總會列席の用件を帶び四日午後八時客四分發列車にて廣島へ出張の筈なるが都合によりては東京方面へも旅行すべく往復共二週間位の豫定也こ
▲新校舍へ移轉　新築に於て安東尋常高等小學校は來る六日七日の兩日開校式舉行の筈に付學校の移轉を十月二日より開始したるが全部の終了は十日頃なるべく其の間授業の休止を見るべしこ
▲滿鐵定期檢閲　滿鐵の定期檢閲は既報の如く九月下旬より實行中なるが北方より漸次南下し來る…し檢閲使は收野理事外調査課長、大淵地方課次席、田中用度監査課長、大淵地方課次席、田所會計課長其他の一兩名なるが安東驛は來る五日より開始すべし
▲天長祝賀中止　例年安東領事館に於ける十月三十一日天長節の祝賀會は時局に鑑み之を中止する事に決したり因に當日は官民一同の遙拜式のみを舉行する筈なり
▲稻垣博士動部　醫學博士稻垣長次郎氏は三十日朝菜列車にて北方より安東に來り滿鐵安東醫院、松事務長の案内にて市中を視察し午後發列車にて南方へ向け出發せり

京城の名物（京城南大門通三）
カフエータイガーの洋食こすき燒

十月五日 九星本命三碧 西九月朔日 乙酉 東閉 先負

▲三碧　早合點の事有り落付て新事見合すべし…
▲四綠　…
▲五黃　…
▲六白　…
▲七赤　…
▲八白　…
▲九紫　…
▲一白　…
▲二黑　…

◎致富秘訣　金をふやす法（無代進呈）

近頃諸物價の騰貴益々甚しきと反比例に、金は一錢も使はず大切に銀行へ預けて置いても、昨日の十圓は今日の九圓、明日の八圓と云ふやうに、段々其價値が下落して行く、ならば殘るべしと云ふ事まで知らなければならぬが、其最も捷徑としては物が、今日は十一圓出さなくては買へなくなる、明日は十二圓出さなくては買へなくなると云ふ有樣だから、昨日十圓で買へた品物が、今日は十一圓出さなくては買へなくなる…

八番地株式會社富强世界社は…「東京市神田區一橋通町」…「株式講義錄」や「貯蓄投資講義錄」を發行して…

大阪海上火災保險株式會社　東京火災保險株式會社　京城代理店　東京山本大印石版活版インキ特約販賣店　つちやたび並ニいろはたび朝鮮代理店　貿易商雜貨商　藤富國太郎商店　京城本町三丁目　電話二〇八番振替京城一七七八番

朝鮮總督府裁判所書記　早川保次君編　朝鮮不動產商業登記申請書式要得　第五版　改訂　定價一圓　郵稅八錢
不動產登記の部には土地調査に關聯せるもの、中樞院の公署の登記に關する書式等併せて百式拾餘件並に印鑑證明願、改良の書類、土地變更事項に關する證明申請（京城府所定）委任狀、契約書、保證書、建物圖面及共同擔保目錄雛形等苟も申請人の參考こ爲るべきものは漏らさず…
商業登記の部には未成年者、妻、法定代理人、商號、支配人及各會社に關する書式等併て五十餘…
發行所　京城太平通り一丁目　京城日報代理部
取次所　京城本町一丁目　大阪屋號　京城本町二丁目　岩松堂

御料理　風流　京城本町二（有樂館東橫）　電話一三八三番

時計及蓄音器卸商　創業明治二十八年　京城黃金町二丁目　喜多金光堂　電一〇一五・替振京城七八二

眼科專門　入院隨意　京城明治町東拓橫（電話二〇四四番）　江頭眼科醫院　日曜祭日午後二時迄　江頭富雄

京城電氣會社製品特約販賣　コールタール　龍山漢江通り八　電話四九番　金物商　島田忠作商店

陸軍御用　元祖　滿天下の賞讃を博したる人參エキス
定價内用　△七日分金五十錢　△十四日分金壹圓　△三十日分金貳圓　△四十七日分金參圓　△八十五日分金五圓　△百八十五日分金拾圓
朝鮮高麗人參（白人參）直取引貿易商　京城本町一丁目
人參エキス本舖　津村兄弟商會本店　京城本町一丁目　電話一四八〇番・振替京城三五二一番・取引百三十銀行
京城本町二丁目　電話八七〇番　津村兄弟商會支店
釜山大倉町　電話三九四番　津村兄弟商會釜山支店　大邱支店
大特約店　京城本町二丁目　山岸天佑堂
京城本町四丁目　木村藥舖
京城本町二丁目　北島藥舖
其他朝鮮全道四百十ケ所
日本各府縣、樺太、北海道、臺灣、支那、滿洲、三百卅ケ所に特約販賣致させ居候間御用命願上候萬一品切の節は本店に御注文被下候はゞ直ちに送達申上候
品質優良藥効の顯著なる人參エキス

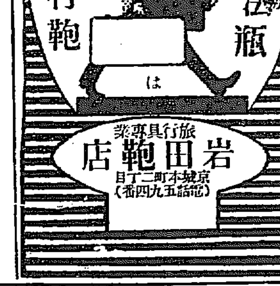
外科　皮膚科　内科　花柳病　小兒科　入院隨意　島崎病院　院長　正六位勳四等功五級　島崎龍一　夜間診察九時迄　本町通り左に入る　京城旭町一丁目　電話二七三六番

優等　灘工場吟釀　銘酒　澤乃亀　御發賣廣告　宅合名會社

アスファルトフエルト　便利瓦（和製マルソイド・テバロイド）各種各種　京城永樂町二丁目六〇　德田商會　電話二三二五番

外科　内科　小兒科　花柳病　高井醫院　京城本町二丁目（壽館前）　電話二一六番　診察自午前九時至午後九時　日曜祭日正午迄　院長　正六位勳四等功五級　高井貞治　副院長　千葉醫學士　松崎正彥

資本金六百萬圓　株式會社十八銀行京城支店　京城黃金町　電話四二〇、五八〇番　振替貯金口座京城八一四番
同　龍山出張所　龍山元町二丁目　電話一八番
弊行ハ各樞要ノ地ニ爲替取引店有之諸預金貸付其他送金荷爲替代金取立等銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候間多少ニ拘ラズ御取引願上候◎右ノ外株式會社長崎貯蓄銀行ノ代理事務取扱申候

秋の旅行は魔法瓶の旅行鞄

旅行具專業　岩田鞄店　京城本町二丁目（電話九五四番）

内科　小兒科　入院隨意　小林醫院　京城旭町一丁目（電話九六二番）　院長　醫學士　小林千壽　副院長　東北醫學士　戶川廣武　永登浦分院長　醫師　久保次

京城日報

京城日報

朝鮮同胞に告ぐ(九)

日本旨髓特に神道に就き 佛教の同化(下)

佛教が神道に接近せんと勉めたるは、神佛習合、本地垂迹等の說に於いて明に之を徵すべし。蓋し佛教は其の本質に於いて汎神論なり(或は萬有神論)諸佛諸陀といふ如き無數の人格を立つるは、畢く理想の象徵に外ならざるも、方便として假りに多神的形式を取れるなり。此の印度の諸神と、日本在來の諸神との間に、何等かの聯絡を設くるにあらざれば、到底教法流通の端束なく、且つ印度佛教其まゝを弘布するの國體を傷ふを恐れ、最初に此の方面に手を着けたるは僧行基なりき。行基は爲らく天照皇大神は我國民信仰の中心にして、毘盧遮那佛は絶對實在の表徵たり、此兩者を結合するは神佛二道を接近し、佛教をして國情に適せしむるの第一方便たらざるべからずと。是に於て聖武天皇に進むるに大佛建立の事を以てし其落成するに及び、宇佐八幡宮が其祖たる天照皇大神、即ち毘盧遮那佛を親しく禮拜したまはんとの託宣ありと稱し、以て神佛二教の反目疾視を融和し、神佛習合の端緒を啓きたり。即ち奈良東大寺の大佛は、啻に當時佛教興隆の記念たるのみならず、實に神佛接近の一大記念物たり。之に繼ぎて傳教、僧空海の如き、偉大なる佛者輩出するあり。最澄は唐に遊學して、台密禪の三宗を傳へ、日本佛教に大光明を與へたると共に、所謂山王一實神道の基を開き、理論上より神と佛とはしかく懸隔したるものにあらず、日本の天神國神も要するに三諦一實の妙理に基き、無限の化度を施したまふものなりとの說を主張したり。次に僧空海に至りては更に一歩を進め、所謂兩部神道を創め、本地垂迹の說を立て、伊勢大神宮も其の本地は大日如來にして、我が日本に垂迹したまへるなりと唱へ、神佛を打して一丸と爲し、以て我が國體國情に適せしめんと圖りたり。中世日蓮の天台より出で、法華經を以て一切諸神諸天を攝せんと圖りたる、亦其の先蹤の遺意を襲ぎたるなり。思ふに行基最澄空海等が佛教弘布のために、しかく大なる苦心を費したるは、彼等が佛弟子として事に忠なりしのみならず、亦日本國民の翹楚として、深く省察する所ありしに由らずむばあらず。そは兎もあれ神佛の習合は、後世の制度上に公認せらるゝこととゝ爲り、之がために多少の紛雜を起したるの事蹟なきにあらざるも國民道德の大體より觀察するときは、決して惡き影響を殘したりとはいふべからず。之を要するに我國民思想は、一旦佛教の東漸に依り、大渦、大旋風の裡に投ぜられたるも、兩敗俱傷に陷るの後に於て、神道は猶赫然として中天に輝き、希臘羅馬の古教の如く、慘たる覆滅の厄に遭はざりき。是れ他なし、神道は國體の淵源、國民精神の根柢の存する所なればなり清原宣賢の言に『神道は根柢にして、儒教は枝葉なり、佛教は華實なり』と。此の譬喩は必ずしも妥當なりといふべからざるも、亦さる謂れなきにしもあらざるなり。

此の如くにして神道と佛教とは並び行はれて相戾らず、神社に社僧あり、寺刹に諸神祠あり、神前に大日經般若心經等を諷誦すると共に、神社の守護神として印度の諸天善神、金剛力士等を安置するの風を生じ、以て明治維新に至りたるが、維新の際、神佛混合を禁じ、爾後兩者の間に截然たる區畫を見、相交涉なきの有樣と爲りたるも、今日にても各地の招魂祭等には、神佛二教の式を交互に用ゐ又國民各戶に必ず神棚を設け、伊勢大神宮並に產土の神を祀ると共に、佛壇に其の所依宗旨の本尊を置き、祖先の位牌を祀りある如き、猶中世の思想を繼紹するものならずばあらず。

更に一言の加ふべきものあり。元來佛教は無神論なるが故に、其の教義に祖先を崇祀するの思想あることなし。印度は世界中、最も早く文化の開けたる土地なるにも拘らず、其の國民に歷史を有せざるは著名なる事なるが、是れ實に祖先を追憶するの念慮なきに出たるものにして、遂に亡滅の運命を免るゝ能はざりき。然るに其教の日本に入れるものは、忽ち祖先崇祀に變じ、全く面目を一新せるとは、大乘教旨の事理圓融無礙なるに基づくにもせよ、即ち日本的同化といはざるべからざるなり。吾人は此の事例に鑑み、方今朝鮮佛教の衰頽せるは、たとひ政權の抑壓に由るとはいへ、民心(根本性)に同化するを怠りたるの罪亦多しと考ふるなり。若夫朝鮮佛教にして、早く民性を看取し、之と同化するを勉むること日本佛教の如くなりしならんには、今日の如き憐憫たる狀態を呈せざりしならん。

對支二大借款

滿蒙山東諸鐵道 及製鐵借款成立

寺內前內閣は、日支經濟的提携を促進するを以て日支親善の實を擧ぐる最も適切且緊要の途なるを思ひ之が爲各般の政策施設を講ずる所ありたるが就中對支經濟借款の如きは其の最も顯著なるものにして既に交通銀行借款、電信借款、吉會鐵道敷設に關する借款、吉林黑龍兩省に於ける支那官有の森林金鑛並に金礦を擔保とする借款其他各種の借款の成立を見たるが尚從來の懸案と成れる重要なる經濟借款にして幾多の交涉を重ねたる結果最近に至りて其の成立を告げたるものあり茲に其の大要を示せば

◆秋 石田富造作

△滿蒙四鐵道借款 支那政府は曩に所謂滿蒙五鐵道を敷設するときは先づ其資金を日本より調達せむことを約したるが其內四平街鄭家屯間の鐵道は我國よりの借款に依りて其敷設に着手したるも其他の鐵道に付いては支那政府に於て其敷設に着手するに至らず以て今日に及びたるが今回(一)洮南より熱河に至る鐵道(二)長春より洮南に至る鐵道(三)吉林より海龍を經て開原に至る鐵道を敷設するの外更に(四)洮熱鐵道の一地點より海港に達する鐵道を建設する爲我特殊銀行團に對して借款を申込み支那政府と我銀行團との間に二千萬圓の前貸借款契約の締結を見るに至れり而して本鐵道は其線路延長約一千餘哩にして敷設費總額は約一億五千萬圓に上るべく之が資金は支那政府に於て金貨公債を發行し我銀行團之を引受けて調達するの計畫なり

△山東鐵道借款 帝國政府は夙に山東鐵道問題の將來に關して日支兩國間に良好なる解決を見むことを欲し之が爲屢々兩國政府間其の意見の交換を爲す所ありたるが今回支那政府は(一)山東省濟南府より直隸省順德に至る鐵道及び(二)山東省高密より江蘇省徐州に至る鐵道を建設する爲め我特殊銀行團に對して借款を申込み茲に支那政府と我銀行團との間に二千萬圓の前貸借款契約の締結を見るに至りたり而して該契約に於て右二鐵道線路を調査し經營上有利ならずと認めたる時は支那政府銀行團間協議の上其の敷設線路を變更するものとしたり因に本鐵道の假定線路延長は約四百六十哩敷設費總額約七千萬圓にして大體滿蒙四鐵道借款と同樣の方法に依り其資金を調達するの計畫となり居れり尙ほ本鐵道借款に附帶して山東鐵道の將來に關して日支間の良好なる了解を得たるもの多しとす

△製鐵借款 日支經濟的親善を促進するの趣旨を以て支那政府は國營製鐵廠を設立し之が所要資金を我國に於て調達すると共に製鐵廠の經營並に技術上必要なる人材を我國に求め經營を完からしめむとする計畫を有し兼て支那政府と我特殊銀行團の間に商議進行中なりしが今回其決定を見るに至り兩者間に不日約一億圓の製鐵借款契約成立することとなり居れり本計畫實行の結果として支那政府は自國に必要とする鐵を製造供給し得るの根基を作るのみならず我國も亦之れに從つて將來必要とする製鐵並に鐵礦石の供給を受くることを得茲に日支間の利益を增進する基礎を樹立することを得るに至りたり(東京)

本紙定價 壹部金參錢 壹ヶ月七拾五錢 ▲參ヶ月前金貳圓拾五錢 ▲六ヶ月同 ▲壹ヶ年同 郵券代用一割增
廣告料金 五號十五字詰一行一圓五拾錢 別二圓 ▲二號七字詰同 ▲四號九字詰同 ▲六號十七字詰一行 五十錢
發行兼編輯人 東口道 印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 電話番號 編輯用 營業用

邂逅 佐々木峯雪

虐待(十)

庄吉は思ひ切つて豐吉の家へ賴んで見やうと思つて、やがて心を定めて隣の軒に佇んで、兎も角御の容子を見もし、聞きもした上で賴まうと聞耳を立てた。

『おこれ、又隣の五月蠅い漢の惣兵衛がぐわん／＼庄坊を叱り付けて居やがる、ほんとにあの老爺には弱つて了ふな』と云ふ聲は主人の豐吉であつた。

『御うですとも、あんな老爺は早うどうにか成つた方が、隣近所の物悦びだに、憎まれ兒は世に蔓延るで、俺たらしい人一倍長命してさい、屁個ね、好い工合に死んだら好いんだよ』

おとわは遠慮なしにぱつぱと云つた、

『は、、、、惣兵衛にはもう閉口／＼』

と主の豐吉は崩れるやうに笑つた表に立つて聞いて居た庄吉は思はず泣いた。

『これぢや賴んだつて駄目だ』はてどうしやう、叔父さんは買つちや承知し無いと云ふけれど、一つ買つて五厘なんだ、辛て一つだけ買つてそして明日の朝でも儲けやう、五厘位なら不用に儲から無いものでもあるまい、御うしやうしやう、御うして些でも早く酒を買つて、其お酒で叔父さんの機嫌を取らう』

庄吉は小さい胸に斯う云つて斯う答へ、急に足を早めて荒物屋の店頭へ來掛つた、

『伯母さん、燐寸一つ下さい』微な聲で云ひながら、長い紐を頸に掛けて內懷深く藏めてゐた、縞の古い財布を取り出して、五厘銅貨をそれへ頂いて出した、

『庄さんはいつもお錢を大切にするね』と荒物屋の女はお世辭を先に、燐寸の小箱をそれへ一つ投るやうにして出した。

庄吉はそれを受け取つていつもの居酒屋の野暖簾を潛つた。

『これ程錢はうかしらア、一合……いや一合位ぢや叔父さん又怒るだらう』と首を傾けて『二合買つて行かう、そして鯖の切れ目買つて來いと云ふんだからそれも買ふとしやう、けれどもお酒二合買つた上に、鯖の切れ目なんか買つたら十七八錢は無くなつて了ふんだ、それより其のお錢でお米をそれだけ買つたら、僕だつて餓い目に逢は無くつたつて好いんだに、叔父さんばつかり獨りで飲んだり食つたりするもの、僕眞成にいやになつて了ふわ』

庄吉は餓に空腹を覺ゑた、と同時にほうとなつて思はずよろ／＼と蹌踉けた。

『あ、困つた、どうせう僕目が廻つて來た』

と危く打ち倒れやうとするのを堪へて『斯うしてちや又叔父さん小言を云ふだらう』と氣を取り直した。

『あの二合ばかり……』庄吉の聲は慄つて居た、

『二合ですか、よろしうございます、おい、大公計つて上げろ』と番頭は小僧に吩咐た。

『へい』と小僧は走り寄つて『これ程』

『二合つて云つたぢや無いかい』と番頭の聲は尖つた、

『へい……』と低う頭を下げて『お器物は……お器物は……』と庄吉の方へ向いた。

『あの忘れて來ましたので』と云ひ難くさうに『お氣の毒ですがお貸下さい』

『へえ』と變な顏をして『番頭さんどうしませう』

『仕方が無いや、貸てお上げ』と片隅の麥酒の空壜を顋で敎へて『其處にあるだらう』

『へい』と輕い返事をして、古い空壜を綺麗に洗て『それからお酒はどれに致しましやうな』

『あの毎日藏くのを……』口の中で云ふ。

『毎日藏だく』と首をひねつた。

『左から四本目』と高い番當の聲がすつと向ふの方にする。

『これか』と四番目の樽の傍へ寄つて『並等か』と鼻の先で笑ふやうな『一番安いやつな聲で云つて、二合計つて壜を渡した。

新學期
▼講義錄界の權威
監修＝齋藤秀三郎先生
講師＝英語界の重鎭たる正則英語學校講師一同
會期＝二ヶ年半にして完全に中學卒業程度の英語學を修得せらるべし

正則英語學校講義錄

特色 講義は平易にして……
所の誇
會費 ……

第二十回新學期開講 目下會員募集中 好機會の入會 講義見本 附則 はがきにて申込次第 無代進呈

東京神田三河町一 正則英語學校 講義錄發行所 電話本局二〇四五 振替東京二六八二六
▼最も進歩せる通信教授
愈開講

購買入札 特許白米七十五石外二點 入札期日大正七年十月四日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ 朝鮮總督府

稻麥扱 東京本所長崎町三目太發明奬勵會

最新刊 書名 著者 定價 送料
實用主義の哲學 …… 一、八〇 一二
…… 二、〇〇 一八
……新物理學詳解 赤澤 一、〇〇 六
株式米綿投機掛引 井上 一、九五 八
ソレテリキ ……山 一、〇〇 八
縮刷辭林 金澤 二、三〇 一八
◎ゲーリー式の學校 定價九十錢 送料六錢
公民年鑑 帝國教育會 六五 八
自然養生法 小山 一、〇〇 八
智能相關の研究 ……七五 六
青年 …… 二、二〇 四
作歌講義 …… 一、二〇 六
和洋家屋構造圖解 …… 二、〇〇 二
戰後の事業 米方經濟調査會編 定價二五〇 送料一二
京城本町 大阪屋號 電話六四番 二〇八六番 振替京城二五七番

大日本名所圖會

今日の文化を生みたる 舊日本の自然と人文を後世に傳ふる 世界に誇るべき大典籍

大日本名所圖會

模範的 復刻提供 刊行會員募集

顧問 帝國大學教授 文學博士 芳賀矢一先生
監修 文學博士 黑板勝美先生 文學博士 關根正直先生 文學博士 佐々木信綱先生

▲本書の復刻は國民の要求也 文明の大波は世界に瀕絶せる我が國の山河を時々刻々に破壞し吾人の夢寐忘る能はざる思出多き舊日本の俤は今や吾人の眼界を去らんとす此時に當り之を追懷し記念せんとせば二千餘年の人文誌と同絶倫の美術とに成れる本邦獨特の名著たる本書を措いて他に求むべからず今や本書の復刻は實に國民の要求なり

▲殆んど無限なる本書の價値 本書は日本文學史上最も重要のものたるのみならず又最も尊重すべき國郡誌、鄉土誌たり、過去の日本に於ける風俗圖說等に至るまで一として收錄せざる莫く實に本邦人文研究の一大寶庫たり若し夫れ家庭の讀物として將た擬勝の侶伴としての本書の價値に至つては今更説明を要せざるべし

▲挿入せる圖畫實に五千餘頁 春木の大家大雅堂、應擧、文晁、崋山、椿山、一蕙、芳齋、雪旦、月岑、其他幾多の大家の筆に成れる傑作、全巻實に五千餘頁に及び世界に誇るべき風景畫、風俗畫、歴史畫の大集成なりと云ふべし

▲實費に均しき無比の廉價 木版本の舊書は實に驚くべき高價のものあり、本會の復刻は中一部に金を投ずるも猶ほ且つ容易に得る能はざるものあり、加ふるに紙價印刷費の暴騰の際なるにも拘はらず殆ど實費に等しき無比の廉價を以て江湖に提供するは本會の最も誇とする所なり。

刊行書目 第一編 都名所圖會(上) 第二編 同(下) 第三編 東海道名所圖會(上) 第四編 同(下) 第五編 木曾路名所圖會(完) 第六編 攝津名所圖會(上) 第七編 同(下) 第八編 大和名所圖會(完) 第九編 攝津名所圖會 第十編 尾張名所圖會(上) 第十一編 同(下) 第十二編 伊勢參宮名所圖會(完) 第十三編 日光山志(完) 第十四編 木曾名所圖會 第十五編 江戶名所圖會 ……全十五冊
體裁 菊判總クロース天金文字入 三〇〇頁以上 金屬版挿畫每冊三百頁以上
期間 大正七年十一月より每月一冊刊行し滿十五箇月を以て完結せしむ ●申込期日 十月廿五日限り
會費 每月拂金參圓貳拾錢 外要送料一時拂金四拾四圓五拾錢
會則付 內容見本 電話又はハガキで御申込次第無代郵送す

東京神田南神保町 電話本局一四二五番 振替東京二〇〇八八番
大日本名所圖會刊行會

忍術復活

時は來れり

現代唯一の忍術研究家 伊藤銀月先生著

忍術の極意

忍術は魔法にあらず、又催眠術にも非ず、何人も之れを研究すれば實行するを得べき、最も合理的の護身法なり。……

目次 概要 ……

◎大好評 忽ち廿版

定價金八十五錢 送料金六錢 四六判美麗洋本 郵券代用一割增 送金の方法は振替が最も完全便利

東京上野櫻木町 武俠世界社 振替口座……

(勿再版)戰後研究の唯一權威(忽五版)巨人最近思想の寶庫

戰後の列強 小紙庫

尾崎行雄氏著 定價金七拾錢 郵送料金六錢

三宅雪嶺氏著 定價壹圓五拾錢 郵送料金八錢

新刊 早川鐵冶氏著

舌彈

四六版美裝紙函入 三百二十頁 定價一圓 送料八錢

著者は硬骨直言の士、立言大膽にして而も批判最も露骨、觀察尖鋭、著眼奇警、眞に傍若無人、痛快無比の人物評論!

發兌 東京麴町平河町一丁目 振替東京三四六七番 耕文堂

◇カルニコフ枝隊へ感狀 浦鹽派遣軍司令官より

浦鹽派遣軍司令官よりハバロフスク占領に功勞ありしカルニコフ枝隊に對し左の感狀を授與せり

感狀

其枝隊はゴラエフスキーの戰鬪後宮內中佐の指揮に屬し克く日本騎兵隊と共同一致して追擊の任に當り旬日間晝夜兼行敵の妨碍を排除し險惡なる烏蘇里河及び深谷四百五十餘露里の長程を突進急進して敵に再起の遑無からしめ速かに八府を占領して其本據を失はしめ以て作戰の戰局に多大の利益を與へたり依て茲に感謝狀を授く

尙同時に騎兵第十二聯隊步兵第十四聯隊第三大隊にも同樣意味の感狀を授與せり（東京特電）

◇休戰成立公表 休戰條件全部承認

巴里發某所着電＝勃牙利政府代表者藏相リヤプチエフ第二軍司令官ルーコフ及びラデッフは九月廿八日サロニカ着二十九日フランセー、デスペー將軍と會見したるが同將軍は聯合側政府の名にて提出せる休戰條件全部を承認し休戰成立せる旨公表せらる（東方通信）

◇祭粢料御下賜

故大浦兼武氏に對し畏き邊より祭粢料金二千圓下賜の旨二日御沙汰ありたり（東京特電）

◇內務次官留任

小橋內務次官は愈留任に決せり（東京特電）

◇鐵道院總裁秘書

東部鐵道管理局庶務課長守屋源次郎氏は鐵道院總裁秘書に決定せり（東京特電）

◇內相秘書官決定

政友會代議士瀧正雄氏は內相秘書官に決定せり（東京特電）

◇鐵道院課長更迭

三日鐵道院各課長更迭發表されたり

西部鐵道管理局庶務課長 稲富正雄
任鐵道院人事課長
鐵道院旅客課長 岡田意一
任文書課長
巡察課長 池信次
任西部鐵道管理局庶務課長
巡察課事務 稲田虎雄
任鐵道院旅客課長

◇新設高等學校

明年度豫算に計上されたる新設高等學校中の二校は佐賀、山形の二地に決定他の一校は水戶に決定す可し（東京特電）

◇鴨江流筏數

九月三十日迄採木公司の流筏總數は五千九百三十八臺に達せるが本月三日迄の流筏を加ふれば約六千五百臺に達すべし（安東特電）

◇貔子窩輸出鹽

關東州貔子窩より輸出する鹽に對し從來支那官憲が密輸出と誤り紛擾絶えざるを以て都督府にては十日より輸出鹽の名稱を下附する事となれり（大連特電）

◇都府醫務會議

四日より都督府管內及び沿線醫務所司[illegible]

◎倫敦財界近況

（廿八日日本銀行着電＝東京）

[illegible]貸出し七十八萬八千磅何れも增加せり 貸三パーセント四分一割引步合各期通じ三パーセント二分一乃至三分一を値せり 地鐵道株一齊下落したるも其後[illegible]

[illegible]

◎撫順炭供給力 本年の豫定量

本年度の鮮內撫順炭の價は總督府と滿鐵に於て協定の結果四月決定せる如く新義州十三圓五十錢平壤十八圓七十錢（鎭南浦同價）京城龍山二十圓仁川十九圓五十錢大田二十一圓大邱二十一圓五十錢釜山、群山木浦何れも同二十一圓五十錢元山二十一圓（以上市塲塊炭一噸持込を含む炭價）を維持しつゝあるは旣報の通りなるが右撫順炭

▲鮮內供給力 につき滿鐵鑛業部京城出張所の豫算を聽くに炭價は常に言ふ如く總督府より如何に嚴重なる交涉あるも事實に於て四月既定の值段より引く事能はざるは市塲の位置が單に朝鮮と滿洲とが營業上差異あるを離れても運賃の關係上已むを得ざる事にして既に陸送と船便に依る運賃が統一し居らざるを以て陸送賃金のみに依れば現在の炭價より多少値下を許すべきも船賃に依らざるを得ざるものありて船賃

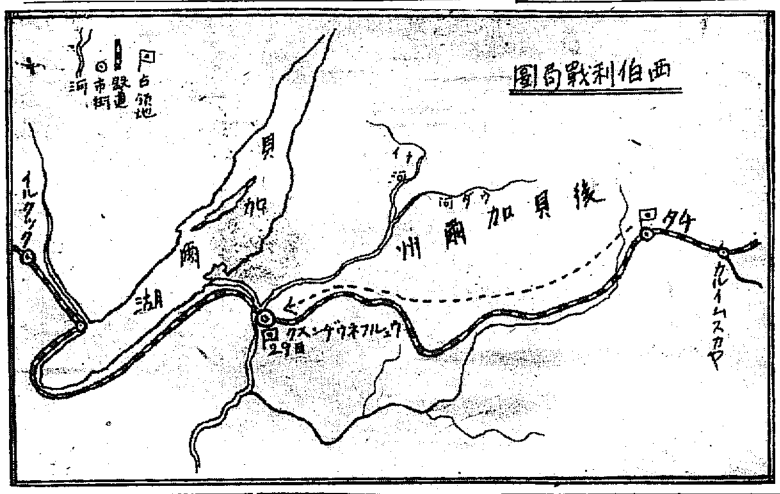
▲陸送賃金 の平均を滿洲市場炭價に加算せしものなり從つて陸送賃金のみに依りて之を計算する者には常に値下の主張をなすらも‥ものなれ共實際は上述の如くなれば如何こもする能はざるなり而して本年度給炭に於ては總督府の意向もあれば比較的潤澤ならしめんが爲め一般に十八萬噸を供給する豫定なりしも更に約四萬五千噸を增加し約二十二萬五千噸を供給すべく鐵道用炭は二十五萬噸なりしも尙五萬噸は

▲九州炭 を移入する筈にて前年に比すれば一般用炭に於て約六萬五千噸を增し鐵道用炭に於て約七萬噸を增加供給する豫定に付消費期に迫れる昨近に於ては其の輸送を圓滑にすべく鐵道に交涉し既に給炭豫定額數の約半量を新義州仁川京城に貯炭しつゝあり從つて本年度は比較的順炭の潤澤なるを見るべし

法主任命議ある可し（大連特電）

◇東拓支店長更迭

東拓大連支店長安東義隆氏は東京本店に轉任し後任は本店より安井氏着任の筈なりと（大連特電）



◎殖銀重役語る 官吏の入行なし

二日朝鮮殖產銀行の樓上に頭取三島太郎氏を訪ふ『新頭取の氣分如何』こ問へば新しく敷かれた絨氈の上を歩き乍ら語る『別に變つた事もないがまだ總てが整はぬので仕事は手に附かぬ、各方面の新任挨拶も昨日總督府を廻つたばかりだからね、銀行の職制は京日に出てるやうになるんだがまだ總督府から認可が來ず從つて課長以下の任命も出來ない、姑く混雜だ、それに御覽の通り行內が手狹だ、直に裏手にバラックを增築する筈だが――』こ云つて當面の行務將來の行務それに鮮銀の行務なごを考へ餘事を顧みる遑なしこ云ふやうな風、去つて某理事を訪へば曰く『當面營業課の方は一日も隙が出來ぬので規定の時間通りやつてゐるが外の課は課員も揃はず第一分課制の認可に接せぬのでまだ手のつけやうがない、茲四五日中には職制も決定らうし各支店から本店に轉任して來るのが揃うはづだからそれを適當に割つけ配る積りである行員は舊農銀の行員を全部引繼ぐばそれで大した不足はないのこ鮮銀やその他から若干入つて來るので概ね所要の人員には充つる筈である、從つて理事に二名の官吏が入つて來たこて行員に多數の官吏を轉入さす如き事はない、差し向き朝鮮の際度支部や稅關の人などは全く入つて來ない、これから又新任挨拶のため駈まわらねばならぬが十日位の日子を經ねば行內の一段落は中々つくまいこ思ふ』

◎米の戰時氣分 自國の力を信ず

▲歐洲大戰 が開かれた當時に於ては米國は參戰の意志を持つてゐなかつた獨逸も英國も佛國も共に其事を知つてゐたが故に種々なる方法で種々なる關係から彼れこ暫時の間米國は冷靜に世界の動靜を觀察してゐる動かなかつたで佛國は更に使者を派遣して米國を說かしめたそこで米國は僅一箇聯隊足らずの兵を參加せしめる事になつた之が米國參戰の嚆矢であつて其れにはルーズベルトやタフトの如き大人物が獨逸の非道を憎み飽迄も彼の行爲を責めなければならないこいふ熱烈な辯舌や文章を世間に發表した事が與つて力あつた樣である然し乍ら元來米國は

▲經濟的方面 に於て參戰以前から聯合諸國に援助を與へてゐたのであつた鐵材や食物や造船材料なごの方面に於ては聯合國は殊に米國の補助を仰がなければならなかつた而して米國が聯合諸國に供與してゐる金額は今日では百四十億圓からあるのである而して亦彼れが產業動員工業動員の制を新に設けた理由も自國の海軍擴張の爲こいふばかりではなく其幾部分かは聯合國補助に存するのであるこ思はれるが然し今日の米國民は經濟的援助だけでは手ぬるく鐵血の援助を與へ獨逸の非道を打破す可きであるこ自覺してゐる全く彼米國人は皆敵國獨逸を憎惡し過ぎてゐる隨つて自國の力を信じてゐる全く驚く程自信の强い國民である

▲必勝を期し てゐるのではあるが亦一方に於ては其れだけに有意義な立派な生活をしてゐる我國に於ては上流社會の子弟が兵役を忌避するこいふ噂があるけれごも米國に於てはタフトの子息でもルーズベルトの子息でもウイルソンの子息でも富豪の子息でも皆進んで兵役に服してゐる其中には一兵卒に等しい生活をしてゐる者もある而して何もせずに安逸を貪つてゐる所の社會の寄生蟲は一人もゐないさうだバーなごで夜を深してゐる者は其筋から戒められ勞働に就くなり兵役に服するなり兎に角にも時間を空費してはならないこいふ事が米國人の今日の覺悟こなつてゐるのである米國人が

▲勞働を尊重 する精神に於ては驚くべきものがある（野村米國大使館附武官談＝東京）

◎大豆粒選好績

朝鮮に於ける大豆種子の粒選は其の收穫量を增加し品質を優良ならしむる效果顯著なるを認め大正二年以來銳意之が獎勵に努めたる結果は漸次其の

▲利益を會得し 自ら進んで之を實行する者多きに至り其の實施成績年こ共に良好なり大正六年に於ける粒選種子數量は十五萬一千九百三十七石にして作付反別二十六萬三千百五十五町七反步收穫高百六十六萬二千六百十七石にして之を前年實施成績に比するに種子量に於て一萬二千六百二十三石作付反別に於て二萬一千七百六十五町九反步收穫高に於て二萬六百十五石を增加し大豆總作付の五割三步六厘總收穫高の五割六步六厘は粒選大豆の占むる所となれり而して其栽培の結果を見るに種子を粒選せる物の一反步當

▲平均收穫高 六斗三升二合なるに對し種子を粒選せざるもの一反步當收穫高は五斗五升九合にして差引一反步當七升三合の增收を見たり

▲粒選實施成績累年比較

年次	粒選種子數量（石）	同上作付段別（町）	同上收穫高（石）	一段步當收穫（石）
大正一年	三九、七八六	[illegible]	[illegible]	〇、[illegible]
三年	九七、[illegible]	[illegible]	[illegible]	〇、[illegible]
四年	一三〇、八〇四	[illegible]	[illegible]	〇、[illegible]
五年	[illegible]	[illegible]	[illegible]	〇、[illegible]
六年	一五一、九三七	二六三、一五五七	一、六六二、六一七	〇、六三二

備考 大正六年に於ける一段步當收穫高の前年に比し減少したるは旱害蟲害に依り作柄一般に不良なりしに因る

◆地方別大豆粒選實施成績

道名	粒選したる種量（石）	同收穫高（石）
京畿	一六、三五四	二〇七、三五二
忠北	三、八八一	七二、五〇一
忠南	一〇、五四四	九九、七一〇
全北	五、四五八	二四、四四[illegible]
全南	七、六七三	六四、二〇六
慶北	一九、九八一	二六七、三六四
慶南	一三、五三六	一六六、八〇二
黃海	五、六八七	八〇、〇〇九
平南	一〇、〇八六	一〇九、一一一
平北	一一、三九一	一一六、四五五
江原	一四、四七九	一四七、六八四
咸南	一八、〇五六	一七二、二七九
咸北	一四、八〇九	一二四、六九九
合計	一五一、九三七	六六二、六一七

◎仁川期米波瀾 新市立合如何

內地市場米市場は新內閣の米價調節中止の說相當根據あるらしく傳へらる、ご近時天候の不良打續き秋收悲觀說多く早くも明年當給關係を見越し買方大活躍の爲め二日下關は先限四十圓臺を拔き大阪は三十五圓臺に熱狂的の大暴騰を報じて仁川の出來値廿六圓四五十錢この間に約十圓の開きを見るに至りしを以て仁川取引所理事者は市場の大動搖を慮かつて二日以來證據金整理の名の下に取引臨時休會をなし延米百石に付金百圓の增證を徵收しつゝあるが三日午前十時を以て納入の期限こなしたるに付多分四日よりは立會開始せらるべきか唯內地市場の氣配は益狂騰相場を演じつゝあるに付仁川は如何なる值頃を以て新市の立會を見るかは注目すべき問題なるが所謂二三圓高は免れ難き所ならんと觀測する人あり尙期米の强調は自然正米相場に及ぼし來り京城正米は三日概ね高値唱へなりき

◎朝郵職員の優遇

朝鮮郵船會社にては昨年並に今春二回に亘り社員及び船員に對し物價騰貴救濟のため特別手當を支出しつゝあるが物價益騰し且つ內地に於ける船員の待遇改善の機運は遂に何等の處置を要するに至り十月より定期昇給を行ふこともに本俸の約五割方の手當を新に支出する事こなれり

◎平北畜牛狀況

平安北道に於ける現在の畜牛總數は十六萬四千七百六十八頭にして大正六年十一月調査の統計に比すれば實に一萬八千二頭の激增を示し居れるが尙最近半箇年間即ち昨年末より本年五月末に至る間の增減狀況を其の前半期即ち六月より同年十一月に至る迄の統計に比較せば生產に於ては大なる差を認めざるも屠殺數に於て三千三百頭賣却數に於て三千二百九十頭購入數に於いて一千六百餘頭を何れも減少せりこいふが預託に於いては約千頭受託に於いては一千九百餘頭の增加を見たる由なり前年に比し一萬餘頭の增加を見たる原因は昨年牛價騰騰の結果生產者側に於て育成の利あるを知り盛に預託受託をなしたるこ又一方にありては屠肉業者等が肉價の牛價に伴はざる爲め勢ひ屠殺を控へ屠豚を以て之に代へたる等の關係にて同道內の消費數並に道外搬出數減少せるに因るこ

◎稻垣博士入京

臺灣總督府臺北醫院長醫學博士稻垣長次郎氏は二日夜入京朝鮮ホテルへ投宿せり

◎金谷府尹招宴

京城府尹金谷充氏は京城府內憲兵隊長同分隊長並に各警察署長及び京城救濟會關係者一同を慰勞の意味來る七日午後六時朝鮮ホテルに招待す可し

◎馬越氏北行

（朝鮮新報）[illegible]會社工場敷地その他の用件にて入京中の馬越恭平氏は三日を以て事務一段落こなりしに付四日午前九時五十分南大門驛發列車にて撫順に北行の豫定なりこ

◎判任見習試驗場所

來る六日施行せらる可き判任官見習試驗は臨時土地調查局構內龍山中學校內に於いて施行せらるべき旨確定したり

◎殖銀平壤支店長

朝鮮殖產銀行平壤支店長中西喜久男氏は殖銀を退任の上朝鮮銀行に復歸する事こなりしを以てその後任は前殖產銀行支配人たりし今井武氏に決定せりこ

◇平康より

大町桂月氏金剛山探勝の途中平康驛より記者に一賦を寄せて曰く

加旗街上映靑天、皇政今年第九年、千載興亡渾一夢、仁風瑞雨古朝鮮

人事消息

▲永田秀一氏（東京高等師範敎授） 二日夜入京龍山へ
▲本田存氏（外國語學校敎授講道館幹事） 同上
▲メー氏（北京駐在白耳義公使） 二日夜入京朝鮮ホテルへ
▲久保猪之吉氏（九州帝大醫科大學敎授醫學博士） 二日夜入京朝鮮ホテルへ
▲藤原正文氏（支那交通銀行顧問） 三日夜入京天眞樓へ
▲菊池和作氏（[illegible]） 同不知火へ
▲大町桂月氏 二日午前金剛山へ
▲內藤湖南博士 三日夜退京奉天へ
▲赤峰新夫氏（咸南道事務官） 三日夜退京

烏瞰雜爼

◇…原新首相の白髮は有名なものだが其の彼れまでになつた經路を辿つて居る人は尠からう▲而して原氏が『縮髮』こ云ふ雅號を以て居る事を知る人も稀だらう▲原氏は若い折には頭髮が縮れて居たから自ら『縮髮』こ號して居つた▲夫が不思議にも漆黑で在つた髮の額の上の所に五厘銅貨大の白髮のかたまりが何時の間にか出來た▲而も其の五厘銅貨大の白髮は氏の地位が進むにつれて擴大して行つた▲之が普通ならば一本々々が白髮に變つて行くのだが原氏の頭髮は生理的進行を全く異にし▲五厘銅貨の擴大が即ち今日の白髮なんだから奇蹟たらざるを得ないこ某氏は語つて居た▲原氏こ云へば大概の人が原敬こ姓名を讀むが之は大間違ひである▲敬はケイではなくタカシこ讀むのだ即ち原タカシこ云ふのが本當だ▲現に故星亨君の如きもハラケイこ讀むのは原氏に限つてケイこ讀むのは原氏が惡いのではなくて世間が惡い▲讃州善通寺の第十一師團の野砲兵聯隊に一頭の栗毛の駒が居る▲名を佐野こ云つて當年正に二十六歳の老馬で日露の戰役に從ひ功成り名遂げて今は老を廐舍に養ひつゝある▲一體馬の定命は三十年以上四十年だ相なるが佐野は最う其定命を生き延びて居るが眼は大分遠くなつて居る▲老來特別の待遇を受けて居るこか▲意の向ふ處に蹄を運び宛こして風月を樂む人の概があるこは面白い▲人間も斯うウマく行けば結構だがなア

◎都野川到著せず

[illegible]

課選及び募集規定 [illegible]

募集規定 [illegible]

現代英學界の突角を示せる標準的和英大辭典

武信和英大辭典

內容見本進呈
ハガキにて申込み次第無代進呈す

武信由太郎先生編

本辭典の利用は「不可能」を「可能」ならしめ「朦朧」を「明確」ならしめ「不安」を「安心」ならしめ「死譯」を「活譯」ならしむ

英語學習の困難が、和文英譯・英作文に於て殊に甚しきは何人も熟知する所、其相談相手たる坊間多くの和英辭典が少なからざる直譯・拙譯・死譯・誤譯・妄譯を以て充たさるゝ事も亦顯著なる事實なりとす「武信和英大辭典」は實に我が英學界の最高標準を示すものにして、從來の缺陷を補ひ、正譯・適譯を以て終始するは勿論、到底他の企及し難き妙譯・名譯亦隨所に見出さる。眞に是れ和英辭典界のウェブスター、スタンダードたるべき至高の權威たり。

武信先生畢世の事業として着手以來廿有一年悉く其蘊蓄を傾倒して現代英學界唯一の大產物は成る!! 語數の豐富、譯語の適切は云ふ須ず排列整然として檢索の自在なる一指を動かせば直に所要の語句は現はる、眞に英語實力最大の貯藏庫。速かに來つて其恩惠に歡喜せられよ!!

諸君は單に本辭典を机上に飾る事に依つて既に多大の自信を得たるの感ある可く、日夕之を活用する事によつて恐らく將來十年の勞力を節約する事を得べし。著者武信先生は本辭典の爲めに其の蘊蓄を傾倒して編纂に從事せらるゝの擧を仄聞するや學界の神經悉く緊張して一のセンセイションを起せり。此事實は偶々以て如何に本辭典の眞價の絶大なるかを立證するに足るべし。實物見本を見よ。

總クーロス製テップ式本綴、特製美本、極めて堅牢繊目持に任意 携帶至便、縱五寸七分、橫三寸一分、定價金參圓五拾錢

戰時價格を無視し五萬部限
大特價 金參圓 小包送料十二錢（臺朝滿廿錢 海外四十錢）

東京麴町九段坂上 研究社
電話番町三四七〇番 振替東京一八六〇一番

弊店儀（本町二丁目）ニテ營業中ハ特別ノ御眷顧ヲ蒙リ候處今般左記ノ通リ營業ト同時ニ移轉候ニ付不相變舊倍ノ御愛顧御引立ノ程希上候
京城南大門市場入口向側
牛乳原料砂糖麥粉掛物類卸專業
千利堂支店

パイン萬年筆

本品を一讀するに〇の必要なく誇張を要せずパイン萬年筆に就ては一語の誇張を要せず萬年筆として備ふべき一切の効能こ特徵こを遺憾なく發揮して品物其自身が自ら其眞價を語るべし

萬年筆使用の快味を知らむこせば先づパイン萬年筆あることを御記憶遊ばさるべし

最新線出式 六圓八十錢
銀浮模樣飾付 四圓九十錢
實務用 三圓八十錢
學生號 二圓八十錢
ビジネス事務用ペン 一圓九十五錢

發賣元 京城太平通一丁目 京城日報代理部 振替京城三〇〇番

鷄鳴いて千草に夕日冬めける

…萬房何れも減少民間預金四百三萬…セント乃至三パーセント四分一週…不調にて挽割に拘らず不勢殊に内…より取來る由なり

◎卒業間際に重營倉

新陸相田中中將のこと

『禿げ振りの似た所から飛んだ人違ひの大失敗』

今度新たに陸相の要職についた田中中將は色々の逸話を持つてる中將は明治

◎十九年に 三箇年制度の士官學校を卒業したのだが其卒業間際になつて一夕飄譁して賑り自修室の通路に寢蓙を引つ張り出して大童になつて寢て仕舞つた之が週番士官の眼に留まつて即座に二週間の重營倉を喰つたが此

◎刑期が終 らぬ中に卒業して其儘聯隊に歸つたが任官が出來ぬこいふ仕儀で一方禮服の註文を引受けた洋服屋はねらいものに引掛つたこ云つて大騷ぎを演じたりしたのである露國へは可成り長い間出張を仰附けられてゐたが

◎日露戰爭 の時は滿洲軍總司令部參謀こしてめき/\こ頭角を現はした滿洲第三聯隊長時代には兵營こ兵田身地方この連絡を取る樣に努めて兵舍の參觀なぞは率先して之を許したりした其外

◎農業出の 兵士に對しては畑の邊から先生を雇つて來て農事講話をしたり狹い畑を營内に拵へたりした又在郷軍人會こ營舍この連絡にも力を用ひたりしたが軍人こ云ふより寧ろ政治家に近い方だ現在第九師團長である橋本中將(勝太郎氏)こは同期で至つて

◎仲が好く 殊に田中中將が三聯隊長時代は橋本中將は第一師團參謀長で屯所が接近して居たので兩氏は常に出會したが或日の事中將が一師團前を通るこ頭の禿げ具合こ云ひ顏の格好こ云ひ

◎橋本中將 そつくりの人が通るので『オイ/\』こ呼び掛けた所が其禿頭は仲好の橋本中將ではなくて當時工兵監であつた上原大將だつたので中將も開いた口が塞がらなかつたこ

◎院展こ二科

昨年より好成績

上野の美術季節の魁をなした日本美術院及び二科會展覽會は愈々九月三十日を以て閉會こなつたが院展の開會以來の入場總人員は十一萬三千六十六人昨年の十一萬八千五百三十四人に比して一萬四千五百三十二人を增加した又昨年の

◎招待は 一萬五千八百七十六人であつたが本年は殆んど倍數以上の三萬六千五百人を算へ昨年の賣約は十七點價格九千十圓であつたが本年は二十點を增加して三十七點になり二萬二千二百十五圓に上つた陳列品は三十日午後六時から徹夜の姿で取片付をなし片ッ端から荷造りして京都へ搬送したが愈來る十六日から岡崎公園第一勸業館で開會する亦

◎二科會は 開會以來三十日の閉會まで二萬八千三百九十四人を算し昨年の二萬九千五百九十六人に比して些か劣つた賣約は昨年こ同じく二十五點であつたが價格は昨年の一千七百二十五圓に比して本年は二千五百五十圓こいふ成績だつた

◎一戸統監曰く

今度の演習は重大な意義あり

一日から火蓋を切つた陣地攻防大演習の統監部は豐橋偕行社に置かれてある、統監一戸大將は其附近を宿舍こしてゐるが過日青山練兵原で不覺の落馬をした爲未だに繃帶を施した頭部に氷囊を載せて執務してる大將曰く『落馬してから頭がグラつき眼が廻つて困つてゐる、平常なら毛少し韻發するが何分大任なので何處こ踏ん張つてやつてゐる西南の役の際小隊長こして出陣し咽喉を擊たれた時よりは苦しい位だ、今度の演習は餘り愉快ではないが重大の意義を持つてゐる』こ(豐橋)

◎大掃除

斯してせよ

臺所……井戸……床下

京城市内の大掃除は愈々二日から始まつたが此の大掃除の仕方に就て某醫學博士は語つて曰く『一家の

△主婦は 常によく臺所から便所座敷なども淸潔にし置かねばなりませんが殊に大掃除の折なごには別に注意はなくても疊を上げて日光にさらしそれを敲く時には床の上に新聞紙を敷くこ宜しいこれは新聞紙のインキが一種の防劑こなつて

△蠅や蚤 や其他の小蟲を防ぐので殊に蚤は非常に人體には害をしますので發疹チブスの病原を誘ふここもあり鼠に移つてペストの媒介ごなるこもあり其他種々な傳染病を發生さする基こなるのですからその新聞紙の上にはナフタリンを撒布して疊の

△合せ目 にも眼立たぬやうに撒布して置くが宜ろしいでせうまた新聞紙は床下から來る冷たい風を防ぎ疊のふくらみを防ぐ爲にもなりますそれから今一つ井戸にも注意されたいので市内でもまだ可なり井戸水を使用してゐる者が多いのですがこの井戸側は此際修繕して

△蓋をし ポンプを用ゐるがよいので釣瓶は殊に共同井戸なごでは非常に危險ですから使用する人々もよく注意して頂きたいのです此外床下の凹んだ處へは小石灰殼などを敷いて常に濕氣を生ぜぬやうにしいこ思ひます

◎狩獵家の當り年

心細いのは鳴

歐洲戰が幸ひした

獵季が來た獲物は何んな模樣であらうこ其道の人に訊いて見る『歐洲大戰の結果雉雁鴨の類が非常に增加したのは何よりも嬉しい何故增加したかこ云ふこ雉は東洋の特產で剝製其他の方法で每年數十萬羽を米國なごへ輸出されて居たのが

▽戰爭の 爲めにパタリこ止まつた結果繁殖した雉は實に何百萬の多數こなつたのである、次に雁鴨は渡り鳥であるから日本へも渡れば歐洲へも飛行くのもあるが、歐洲地方は戰爭最中で誰も獵ごころの騷ぎではないので雁鴨は無限に繁殖し其溢れが本邦へも盛んに渡つて來る爲である、之に引替て初獵の獲物こして最も歡迎さるる鳴は心細い程減少しつゝある其

▽原因は 米作增收の爲の獎勵から化學的肥料こして硫酸アンモニヤなごを盛んに肥料に供するので鳴の好餌こする蚯蚓其他の小蟲の發生が激減した爲である』

◎世界一の大煙突が米國に出來た

海拔から計算すれば久原のが世界一

大分縣佐賀の關久原製錬所の大煙突は高さ五百五十尺にして一時世界第一の大煙突こ稱せられて居たが今春米國華州タコマ市の郊外に五百五十一尺の大煙突が現はれて久原製錬所の大煙突の『世界一』は

▼無殘にも奪 ひ取られて了つた、始め佐賀の關の大煙突完成して『世界第一』の大煙突出現が昨年來米國の各新聞雜誌に大評判こなるや何が皆『世界一』好きの米國人の事こて早速負けじ魂の競爭心がムラ/\こ起つたも無理はない、折柄煙突短小の爲め煙害問題を惹起して居たタコマ製錬所では從來三百尺足らずの煙突を約二倍大に改造し仕事の序に久原鑛業のより更に

▼一尺の高さ を加へ正に五百五十一尺の高さを以て『世界一』の榮冠を占領した但久原鑛業佐賀の關の大煙突は元來海拔七百尺の山腹に築かれたので海面上の總標高は一千二百尺こなるがタコマ製錬所のは殆んご平地に築かれた煙突故海拔から計算すれば久原のが依然『世界一』だこ最近米國歸朝者の談

◎賑うた北行列車

本尊の都野川は乘つて居ない

鬮商殺し犯人見物で大混雜

不敵の殺人强盜犯人都野川が三日午後九時十分南大門驛著列車にて松警部より本町警察に宛て着いたこ護送されるこの電報が大阪なる小事は既報の如くにて同列車が釜山を發するこ

△沿線各驛共 この殘虐な犯人の樣子を見んものこ構外、構內こも多數の人出にて賑ひたるが何故にか犯人はこの列車には乘り込み居らず、群衆は失望して歸つて行つた、鳥致院邊より一層群衆の數を增し、車掌を捕へて犯人は何處?こ聞く者多く、それ等の人に向ひ『この列車にはそんな者は乘り込みません』この挨拶をするに目を廻はしてゐた

△永登浦から はプラットホームは群衆で一杯で中にはわざ/\京城から此處まで出かけて來た人もある、龍山では車掌が『最う此處は乘れませんから後へ行つて下さい』こ乘客に言つて居るのを聞いて『そうら、後だ、後の室だ』こ大雜沓を極めて居る有樣は凄じいものであつた。

▼犯人は何時來るか 都野川義雄が三日の晚には愈南大門に著くこ云ふので本町警察署前及び南大門驛に集まり九時頃から刻々に集まり九時頃には鐘路署前も南大門驛も全く人を以て埋められた。南大門驛では構外で見物はさても出來ぬこ思つたものか態々入場切符を買つて入つた人がプラットホームに一杯であつた斯く人心を沸騰させ數萬の群集を吸集した犯人が愈々豫定の時間に到著しなかつたので見物は皆失望して引上げた、本社には釜山支局から犯人は三日朝の連絡船で上陸しなかつたこ云ふ電報が延著した爲め其旨昨夕刊で發表し得なかつたのは殘念であつた

◎過激派に屬せる二百の支那人を嚴刑

憤慨したチエック軍

湖に投じ又は銃殺す

西伯利より來れる某有力者の談に依ればチエック軍は最近二將校を過激派の爲虐殺されたるに憤慨し過激派の使用せる支那人二百名をバイカル湖に投入し或は銃殺等の刑に處したりこ

◇初老

時代の攝生

―規律的生活が一層必要―

人間は四十の坂を踰すこそろ/\身體に老衰の徵候が顯はれて來る之れは生理上爭ふべからざる現象で初老こ云ふ言葉や四十二の厄年なごこ云ふ戒を昔から言傳へられて居るのも畢竟老衰を警むる爲めの言葉であるこ醫師は謂つてる、故に

▽壯年時代の 非衛生な生活が此年頃になつて結果こなつて現はれて來るのである、人間は此時にも社會に立つて活動する時代は矢張り四十歲位からである、信用こ言ひ地位こ云ひ名望こ云ひ、最も大切な時期であるから、健康の上には特に多大の注意を拂はねばならぬ譯である五十歲前後になつたら每朝目が覺めて起きる時から、特に衛生上に注意をせねばならぬ一寸した事だが朝不意に起きるこ眩暈がする半日位は氣分が惡いこ云ふ事柄もある、一般目が覺めて

▽突然起き上 るこ云ふのは衛生上宜しくない、不意に起き上がるこ今迄睡眠中に心臟を始め肺でも腦でも總て諸機能が鎭靜して居る、血液の壓力が減じて居たのに目が覺めるこ同時に不意に起き上がるこ腦內の循環機能を妨げて俄に血液の壓力が强くなり血管緊張を與へるから心臟や動脈の弱い者であつたら危險を與へる尤も血液の壓力を起す事や諸機能の活動は覺醒後瞬間に起るものではあるが急激の事は却つて害になるので腦內の

▽循環機能に 障害を起し眩暈の感を與へたりする事になる、故に目が覺めたら暫く床の上に靜かに横たはり、睡眠氣分から離れたら起きる樣にしたい此年の時は些少の事位は害にならないが老衰期に入るこなか/\此年代の理窟は通らない、規律的生活は、愈必要になつて來る

◎井邑の慘劇

全北井邑郡泰仁面[illegible]敎鍾(二七)は豫て同郡長明里朴孝淡(二五)の妻李姓女(二〇)こ情を通じ居たるが本夫朴は二人の關係を知るや憤怒の念に堪へず九月二十五日夕姦夫鍾が自宅を出でんこする處を朝鮮庖丁にて斬附けその即死せるを見濟まして自宅に取つて返し同じ兇物にて妻を殺害したる上返す刃にて吾れこ我が咽喉を突き自殺を遂げたり(井邑)

◎松尾夫人葬儀

本社編輯局長松尾茂吉氏夫人葬儀は既報の如く三日午后四時自宅出棺南山本願寺に於て執行されたり此の日會葬するもの總督府醫院森安博士李王職長官代理分次官金谷府尹を始め官民の知己同業者等約百五十餘名、極めて盛葬なりき

◎朝鮮旭會演奏

過般在京筑前琵琶敎師協議の上設立したる朝鮮旭會にては五、六日の兩日午後六時半より本町一丁目[illegible]に於て撥會披露五十五番の琵琶演奏會を開催する由なるが、兩夜の出演者は在京各敎師の外今回に招聘したる東京宗家旭翁師範代橘旭宗師、東京旭會幹事島田旭耕師、關山少女五名の花形村谷旭精師の出演あるべく前人氣頗る盛んなり

▼五日 湖水渡(中村旭爾)鵯越(石田旭讓)堀與山(佃旭祖)茶臼山(南村旭沙)川中島(細川旭江)武盛(本田旭映)未定(嵯峨崎旭翔)向島(松岡旭愛)項羽(村谷旭蓮)未定(村谷旭精)菊の露(島田旭耕)那須與一(市岡旭宗)

▼六日 正成中將(尾上旭華)菊の露(玉村旭掬)筑後川(宇川旭蔭)屋島(富岡旭峯)茶臼山(橋本旭彩)石堂丸下(佐川旭澄)義士本望(三原旭蓉)項羽下(坂井旭水)伊豆の御難(村旭汀)未定(村谷旭精)富盛(島田旭耕)壇の浦(橘旭宗)

今年流行のショール

秋も闌になつて追々ショールの季節となる、今年はごう云つた風なのが流行するかこ聞いて見る、地質は相變らず紋パレス、綸パレスが一番で新しいものこしては錦紗縮緬のもの、琥珀縮緬が喜ばれてゐる、色は一般に黑地のやゝ淡いのが流行の中心となつて居るが若い人には紺、紫、臙脂、海老茶なご云ふのが歡迎されるやうである、模樣は中紋い小紋、縞網縮等であるが今年は模樣が段々簡素化された事に著しい變化が認められる、變つたものには縞柄や投げ縞など、中には支那陶器の模樣や更紗模樣や埃及模樣を應用した面白いものがある

讀者文藝

(一等には…各一)

▲物は付『うら悲しいものは』

◎質屋へ行く裏路(一等) 京城 春陽

夕暮の田舍道 水原 三角

夕べの落葉(先著) 京城 美人草

名譽の戰死(先著) 晋州 岳雲生

蛸に猬まれ夫は放蕩 龍山 英子

演藝

△金色夜叉 大正館にては四日より全部が寫眞と變替ふる由なるが今回は秋季特別興行として日活會社が最近に於ける一大傑作として誇りとする故尾崎紅葉山人の金色夜叉を一萬呎を出すことなれるが同寫眞は背景を特に伊豆熱海に選び苦心の結果に成れるものの由なり、尙右の外に『デブ君の僥倖』最長尺『絕海孤島の花』全五卷等あり

△壽座の新劇 壽座は浪花節劇浪花改吉一行にて五日より開演の筈なり同一座は從來の浪花節に舞臺劇其他に於いて異なれる點ありといふ

△黃金館 三日より新寫眞を取替へたるがその主なるものは「疑問の死」全四卷「時局探偵」黃眼の時」活稽「アブとマヤル」の諸種等なり

本日より 文藝大寫眞公開 米國ユ社特作品 世界的舞踊家露國帝室技藝員 アンナパヴロワ夫人出演

大活劇 啞娘 全八卷

數十萬弗の費用こ八ヶ月の日數を經て完成したる文藝大寫眞也

青島新映畫人情劇 故鄉の母 全五卷

米國ユ社特別連續大寫眞 灰色の幽靈 第五篇第六篇 四卷上場

寫眞長尺に付正六時二十分より映寫仕候

有樂館

新荷著大賣出し

日の丸小間物店

京城本町二丁目

景品差上升

來ル十月五日ヨリ九日マデ

▷日活會社三ヶ年計畫之大寫眞愈々公開す◁

明治文壇の最高權威たる故尾崎紅葉先生が半生の心血を傾注せられたる此空前の大作に對し斯界に未だ完全なる映畫の提供なかりしは吾人の久しく遺憾とせし處なり

大悲劇 金色夜叉 全一萬尺 百八十八場

吾日活會社は三ヶ年以前より此名篇に適應する萬般の準備を了し獻身的の努力と十萬圓の費を投じ漸く完備大成したる眞に模範的の大寫眞なり

滑稽 デブ君の僥倖 最長尺

絕海奇談 孤島の花 全六卷

大正館

秋季特別大興行 (十月四日より)

鮮滿無量の特約店にて販賣す

調劑確實有效保證 KAZEPIRIN 解熱完全劑 カゼピリン 大學病院撰範方劑 東京風 本舖 東京市… 淺野樂天堂藥局

秋の風引には

商業登記 合資會社高麗藥業社 社員…… 本店…所左ノ如ク更正ス 京畿道…… 右大正七年九月三十日登記 京城地方法院開城支廳

新勸業債券 報國公債 月賦賣出し ……照會返信料切手貳錢…… 京城府若草町百六番地 株式會社滿洲支店朝鮮支部 電話三〇一 振替京城六五九番

簿記 通學 寄宿 募集 校外 本校は簿記學專門學校に一人每に教授する……法律の規定に依り簿記の……學ぶ者……校則送料四錢 東京市芝區櫻川町十一番地 私立 日本簿記學校

牡丹と芍藥は今が移植の最好季

多數持合せ有り廉價販賣 庭園造築請負 山茶花盆栽 草花果樹苗木 木外植物一切 仁川…前 北垣華王園

電燈を暗くする器具 金五拾錢也 京城朝鮮銀行横 ヒオキ商會 電話二一〇三番

川瀨陸軍藥劑官製藥 ゲンノショウコ越幾斯 エキス

胃腸藥 下痢止 ◎十瓦(凡十日分(六十錢) ◎廿瓦(廿日分)一圓十錢 ◎卅瓦(卅日分)一圓六十錢 送料鮮內二個 鮮外…

(ゲンノショウコ)は胃腸病より起る下痢症に靈妙の効驗あること は一般有識者の認知する所にて今や各病院、試驗所に於て成分の研究中にして今や實驗上多くの同病者に服藥せし結果有效なることを確め最早一點の疑を入るるの餘地なきに至れり

【適應症】◎冷服等より起る下痢症◎疲勞の恢復◎婦人にありては子宮病殊に子宮內膜炎『用法服方及服藥者心得は現品に添付しあり』本劑は赤痢コレラ等の時期には家庭に缺く可からざる豫防藥なり 本藥を平時服用すれば身體健康となりガマクチの下痢も止む

一手發賣元 朝鮮京城府若草町 東洋藥房 電話二一二八番 振替京城四一一九九番

地方御注文は前金の規定なるも御希望に依りては代金引替小包をも發す

內科 小兒科 村上病院 京城永樂町一丁目(商品陳列館前) 院長 醫學士 村上龍藏 副院長 藥業士 瀨々尚郎 電話六一三番

‖原內閣と大新‖

諸惡材による株界の最低相場は既に實現せり積極的なる原內閣が不徹底なる小口落禁止に就き何等かの緩和策を講ずるは萬人の疑はさる處にし今や奔騰の氣運に際し此際第十回を組織し大株新の買付を敢行し大捷を博せんとす諸士夫れ決然參加せられよ

■加入金一口五拾圓 ■申込期間十月十五日

日本信託商會證券部

第十回 株式(大株)(新)買同氣會

大阪市北區堂島浜通二丁目二 電話北長九七二 振替大阪四〇五六九

△會則進呈▽

池田季雄

イケダ小兒內科醫院

京城三越吳服店前へ入る旭町四丁目 電話(醫院一二三四番)(自宅二〇三〇番)

セメント値上廣告

內地製造會社の値上に伴ひ今日より一割宛値上實行仕候

十月一日

京城セメント販賣同業者

妻の心 百十

十八の一 小林蹴月作 武内桂舟畫

久三郎は、「慣つて慣り抜いて、」慣つたまぎれに稻荷横町を飛び出したのは好かつたが、山下の電車道へ來てから、不圖立ち停つて、自分の是から行先を考へて見ると、流石ぶら心細いものであつた。

暴風雨が過ぎてから後の秋の太陽の底強い光線は、眞目面からじりく照り付けて、戰場の跡の如くに荒れすさんだ町の兩側の柳が、縱に横に根こぎにせられて、屋根看板や廣告塔の板壁が、算を亂して吹き飛んで居るのが、何となく自分の今の心のやうにも思へたのである。それでも、その中をボギー電車が鐵蹄も平氣な顏して、異様な唸りを發てつつ、往つたり來たりして居るのを見ると、人間も矢張彼の電車と同じやうに軌道の上をさへ走つて居れば間違ひはないものであると氣付いた。

『乃公は今……公乃自身は今、電車と同じやうに軌道の上を走つて居るのか知ら?』

自分ながら、斯う自分の心に問ひ返して見た時、久三郎は、どうしても眞直な平かな軌道の上を走つて居るのであるとは、答へ得なかつたのである。——當夫にと思つたお芳の生んだ子は、自分の胤でない事も今では殆んど極つたやうなものではあるし、未練に縋られて、折角探し附けて來た若龍の駒子とは、痰唾を吐きかけ、羽織を引裂かれて、物分れとなるやうな限前の始末である。そんならば、自分の巢窟へ立ち歸るのが、一番安全で無事でなければならぬ理窟であるが、その自分の巢窟は何處に在るのである?兎にも角にも七年來添ひ遂げて來た妻の駒子から、今朝櫻井を使者に立てて、逆捻に絶縁状を送り越したばかりのほやくではないか。戸籍法や民法や所謂法律的權利義務は姑く後の問題として、自分の女房から絶縁を宣告せられたと云ふ眼前の事實は、事實として認めねばならないのである——一ツく、斯う仔細に揣を屈して見ると、彼の駒子の云ひ分ではないが、世間の中の女と云ふ女から、悉く排斥せられた、寧ろ反逆せられた孤城落日の慘澹たる悲運の影に抱かれて居る者は、即ち我町川久三郎なのである。

久三郎は、泣きはせぬが、何だか人影の見ゐぬ所へ行つて、獨りで泣いて見たいやうな氣が什出した。西に行かうと東へ向はうと、本郷もあれば妾宅もあり、政派關係の子分も、會社關係の雇人も數へきれぬほど持つて居る一角の大將株で居ながら、一時に三人の女から裏切せられた淋しさと不快さと詰まらなさ加減とは、全く甚麼巧妙なる小說家の筆を借ても決して寫し出す事は、出來得まいと思ふほどそれ程染々と腸に沁渡つた。

『一つは酒の氣が離れた加減かも知れない。』

久三郎は、山の上の精養軒を思ひ出して、徐かにその方へ歩みを向けかゝると、背後から突然『町川さんで被在いますわね。』と。浮氣さうな艶めかしい聲で、呼びかけた女がある。

久三郎は何氣なく振り返つた。見ると、それは若龍の駒子が妹分で、飽るほど顏馴染の小龍であつた。

『おツ、お前は春の家の小龍だね。何時の間にか下谷へ塒を取換たと見ゐるね。』

『はあ、然うで御座いますわ。若龍姐さんが被在らなくなつてから何だか不景氣で仕様がありませんので、先月の上旬から此方へ出ましたのよ。』

『は、は、は、』今日は向ふの岸に咲くの玉だね。何處で何人に用合すか分らんもんだ。』

『あら、そんな事何うでも好くてよ。町川さん、久し振りですから是非お呼になつて頂戴な。』

『うむ、賴みとあれば呼んでやつても好いね……伊豫紋へでも行つて、晩飯を御馳走しようか。』

『ごうも濟みませんわね。道理こそ今朝茶柱が立つたんだわ。ではね、町川さん直にお伺ひしますからお先へ行つて頂戴な。』

小龍は願うてもなき好い鳥を擒へ付けたと思つたのであらう、お座敷著と着換て來るべく大急ぎに自分の家へ走つた。

久三郎は勿論、小龍なんかに何うの斯うのと云ふ義理も執着もある譯はないが、心機一轉……當座の忘れ草代りにはお誂への話相手と思考したので、約束通り伊豫紋の門へと爪先を向け直した。寸善の尺魔か、尺魔の寸善かは知らぬが、飲み出たら止め度のないのが何時もながら町川君の大悪癖なのである。

上海近情

上海 株式取引所は本年創立以來問題不可能說傳へられ[illegible]四十五種の關係者が三十[illegible]

西暦にして[illegible]米價は八十[illegible]者により日本[illegible]決定し[illegible]

[illegible]所謂[illegible]價高の爲我々上海に[illegible]すものは便宜少からず[illegible]の爲今後の日本商人は[illegible]

◇啞 産褥熱や近親結婚から ―啞者の生れる事がある― 母親への注意……

世間では聾者と啞者とを別々に考へて居るやうですが啞であつて聽えで無い者はないのです、多少にても聲を聞き得られれば啞者ではないのです若し聽覺が完全であつて啞者なればそれは低能者で言語を理解する事が出來ぬ爲め啞者になつたのでつまり啞者でなく低能者ですから治療の施しやうもありません、聾啞には

◇先天的 のものと後天的のとありますが先天性が必ず全治せぬでもなく又後天性だと云つて全治するものでもありません、これは聽覺中樞と發音器の一部と中耳內耳等の破壞されたものは何れも不治のものですこの他にまだ原因となるものは色々ありますが右の中樞さへ破壞されて居無ければ手術治療で全治される者の者ですそれ故啞者には先づ聽覺の手術を試みるのが治療の順序ですそれから啞者が治療の効を奏したと云ふこと世間では普通人と同様な言語を發する事が出來るやうに思ひますが決してそう云ふものではありません何故なれば啞者である間は

◇普通人 の言葉を全く知らぬのですが全治した時は單に發聲したに過ぎないのでつまり幼兒が片言交りに日を經て言語を覺へるのと同様なのですそれを啞者の親達は全治したら直にも話せるかの如く思ふのは大變な間違ひです又先天性の啞者でも全く一言も發されぬのは無くごんな啞者でもアヽ行こハ行こは發言が出來るもので啞者となる原因は色々ありますがやはり遺傳されるやうです先天性のものは胎內で或る黴菌の爲めになるのですが最も多いのは

◇産褥熱 が原因するやうです一體産褥熱は母親の産後に發するものと思はれて居ますがさうではなく既にその以前に病原があるのです、それ故この場合には嬰兒の第一呼吸によつて啞者となるのです又後天性の多い原因は嬰兒は生れ出て暫時は皮膚に一種の蠟があつてこの爲めに嬰兒特有のブツくした粟粒やうなものが皮膚の各部に表れますがこれは或時期に必ず消ゐる筈です若しこれが體內に侵入すると色々の病原をするものですからこれらが啞者となる諸官能を冒せば聾の原因となりますす、次に先天的聾啞者には近親

◇結婚が 多數の原因ですが又吃者が啞者となると思ふ人もありますが全然性質が違つたものです然し母親が吃者である生れる子が啞者である例は多いやうです後天性啞者の原因も種々ありますが大體に腦膜炎と中耳炎等が多いやうですそして最も注意を要するはよく世間に多くある幼時の耳液を手當が行き屆かずにしたのが數年を經て中耳炎の原因になる事が多いのです又

◇中耳炎 とならぬ迄も耳液がいつか聽覺を故障して居たのを其子供が發言期になる迄見出さなかつた爲めに啞者とする場合があります、それから親は子供が歩み初めた當時轉ぶ事に注意しますがそれが一般に高い處から落ちたり轉ぶのを恐れるのが普通ですがこの時期のは危險でないやうな平な處で轉んでも若し顳顬骨つまり耳の上部の骨を打つとその爲めに聽覺を害しますから注意しなければなりません、啞者の治療は幼少者よりも年長するほど手術は容易なものです、それから俗に考へるやうに啞者は聲帶とか

◇扁桃腺 肥大位の爲になるものでありません、尤もそれ等が多少障して居る場合も無いではありませんが其位で啞者になる筈はないので扁桃腺や聲帶の手術では到底發聲を幾分樂にする位です啞者は同時に聾者であつて必ず聽覺を害されたものです』(某醫學博士談)

讀者の領分

遠犬の取扱に就ては乘客貨物係へ注意するが不親切のは南大門驛にして頗る鄭重に取扱ひ呉れるは素砂驛之れある(愛犬家)▲第一回桙會同志會展覽は十日の訪むる所次は西小里永登浦で何を見て驚いた、まるで味噌も糞も一つだ、相當に素人ばなれしたと思ふのがあると一方にはまるで小學校の生徒が畫いた樣なものがある、出品點數を多くする必要はない、相當に審査して出す樣にしてほしい、審査と云ふ事は其會の進歩にもなる事だ(探勝の男)▲金剛山の毘盧峰、須彌峰、彩霞峰は色吟き初む十月一日より廿日迄が見頃に候、一間に山頭なる紅葉かな(溫井生)▲[illegible]道路取締りが怠けて居るのか通行人が盛者になつたのか本町などの往來は混雜で危險此上なし町の眞中で立ち話をして居る者や彷徨なうつかり見て居るものなどが多い本町邊では何時も四五歲から三歲位の小供が町中で遊んで居る(一市民)▲市中に倉庫の建築を許可するなどは[illegible]の許す處だらうか南米町などは倉庫を建築した爲め往來の妨害だしお取締を望む(附近の一人)▲旭町一丁目の下の方の奥へ深ひ小料理屋は何時も一時二時迄も騷ぎ附近の安眠を妨害する事甚しナシト取締られたし(附近代表者)

新刊紹介 (到着順)

▲佛教論理學(村上専精、境野黄洋共著) 村上博士の名著因明學即ち佛教論理學の起源、經歴、形式論理學と佛教論理學との比較、佛教論理學と論法なる序論として本論に入りて詳細に之を說述せり宗教家は勿論、教育家、操觚者等の一讀を要すべき者なり(一圓七十錢東京小石川原町六丙午出版社)▲暗算法(米本張三郎著) 著者曰く暗算は最初より之に熟達せんとする事は不可能なるも運算に際し常に暗算を加味し行きて怠らずんば遂に暗算の蘊奥に達すべし』と此の書に記述せる所によれば容易なるものより次第に難問題に入りて如何なる計數にうとき者にても自然に暗算の妙手となるを得べき様懇切に叙述したる良書なり(五十八錢東京日本橋區本町博文館)

▲悲劇文庫闇の女(齋藤北郎著) 此の書の女主人公が大なる決心と努力によつて苦境を脫し貞操を全うしたる筋を書きたるものなり(二十五錢、東京[illegible]書閣)▲日本魂(日本力號) 日本力の評判的研究、歷史、[illegible]其他種々の興味ある記事豐富なり(二十錢、東京京橋三十間堀三の七[illegible]社)

京吳服 京都たまや出張店 永樂町三丁目 電話二九六

皮膚病 黴毒 淋病 膀胱 生殖器 機能障碍 科 入院隨意(診察夜九時迄) 日曜祭日午後二時迄 京城明治町二丁目(元町) 佐藤醫院(電話一一二三番)

牛肉は 深堀本店へ 京城旭町一丁目 電話一五一九番

各種 菓子 目錄 衛生ボーロ、不老草果、ウバ及星、キウリ、茶菓、京煎餅 洋 御菓子卸商 京城義州通一丁目六四 永興製菓所 主任 金鎭秀

京日案內 普通一回前金一行七拾錢 罫外一回前金 ▲申込中後途揭載中止の節は料金不返戾 ▲六回以上の御申込は特に割引 ▲御申込は返信附にあらざれば回答せず

◎各地方販賣部主任招聘 每戶に缺くべからざる國旗袋販賣主任採用委細面談 照會返信料要す 黄金町三ノ二九一 實踐大道社

鍼灸術 貧困者は施療す リヨマチ 脚氣 胃腸病 肺病 心臟病 神經痛 京城黄金町三丁目 郵便所西入 三軒目 電話一〇八七番

高等御下宿 親切丁寧を旨とす 閑靜にして眺め良し 西大門町中學前 電話二六二五番 優翠旅館

◎京城電話希望 龍山元町三丁目 電話五二番 竹村材木店

◎洋服職工 至急入用 (水原驛前)電話一四二 巴商會洋服店

外勤社員 數名採用 新業に經驗ある人は特に優遇す 履歴書持參午前中來談 京城黄金町二 太平生命保險支部

內勤員 一名入用 但筆記の素養あるもの 來談あれ 市內保證人を要す 京城黄金町二 太平生命保險支部

◎染料及附屬品 廉價 京城本町三丁目 電話四八七番 マツヤ事 阿部藥房

◎筆記方一名(多少素養ある者) ◎普通店員三名入用 歲以上にて市內に確實なる保證人ある者履歴書携帶南大門通三丁目今村精米所販賣部に來談あれ

◆分析及鑛床調査 電話一三四四 分工場 京城 東亞煙草長谷川町 黄金町 鑛物試驗所

◎ほねつぎ(うちみ くじき) 一切の治療御依頼に應ず 明治町 柔術道場

毛皮なめし並仕立 鳥獸剝製 標本類製作 鳥毛皮鳥羽買入 京城本町二 電話長二〇六五番 [illegible]商行

◎醫師一名招聘 京城府警務總監部通り 七星堂醫院

新式耐水調革 新田帶革 朝鮮總代理店 京城本町四丁目 白神洋行 京城南大門外 白神洋行支店 新型ハラタ調帶 定價安東込發送呈

りん病 ばい毒 ルーデサック 京城永樂町二丁目交番北 東京ドラッグ商會本部

新古ストーブ 煙突 其他附屬品一式 多數持合候間多少に不拘御用命願上候 京城北米倉町百番地 古物問屋 有好商店 電話一五四六番

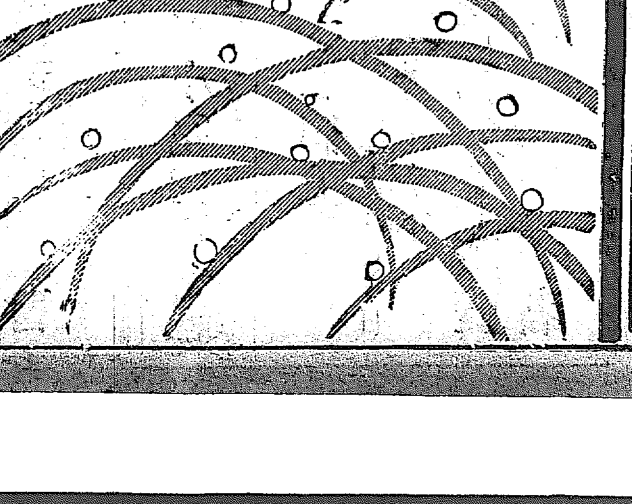
鐵道枕木 二千五百本 船材 一千八百枚 右海州龍塘浦ニ於テ廉賣可仕候間御希望ノ方ハ左記へ御問合セ被下度候 黄海道海州面南本町電話五十五番 大昌洪館 朴昌鎭

十月のお料理案內

紅葉色づきて松茸の季節に入る、吸物、松茸飯等味の素を應用して料理に工夫あるべし、栗のきんとん新芋、牡蠣、秋刀魚、鰯など何れも膳に上して賞美すべきなり

あらゆるタベモノのアヂをよくする

味の素



▲醫界の新提唱を確實捕捉したる本劑を服用せよ

體力增進の要素

ワタカルシューム錠

本劑の効力に就ては茲に多言を須ひず服用者にのみ與たる無比の効果が之を證すればなり

◎楢林醫學博士推奬狀に曰く 「余も過去一年有半に亘りて自己身體に試み其有効なるを親しく經驗せり……」云々

◎片瀬醫學博士鑑査證明に曰く 「予は常時カルシュームの服用を怠らざるのみならず予の全家族に之を服用せしめて其效力を確認……」云々

▲片瀬學士口述の說明書御申越次第送呈

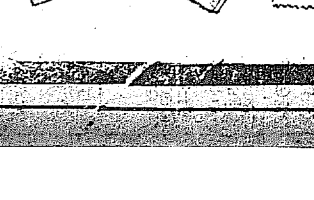
大阪道修町 和田卯助商店 電話本局一〇九七番 振替大阪三一九九番

衣更 單衣より 袷へ 衣更

此際特にお忘れなく足袋の御撰擇を遊ばせ=それには名も無き粗悪な足袋は捨て、

福助足袋

名實共に日本一



一、他品に優る福助足袋 一、優美高尚 一、色褪せずほころばず 一、穿き心地よし

營業所 東京日本橋區田所町 京都四條富小路 大阪堺市市之町